

# SATOCe

*TAG and LABEL PRINTER*

## 取扱説明書

このたびは、当社バーコードプリンタSATOCeをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

本書は、はじめてSATOCeをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、SATOCeの機能をフルに使いこなしてください。

■安全上のご注意	I
■設置及び取扱い上のご注意	1
■箱から出しましょう	2
■各部の名称	4
■オプションについて	8
■用紙の種類とセットのしかた	11
■電源を入れてみましょう	23
■動かしてみましょう	29
■あれ？どうしたのかな？	47
■毎日のお手入れ	57
■基本仕様	59
■アフターフォローについて	61

# 安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。  
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

## ▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。



## 警告

### ■不安定な場所に置かない



・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

### ■水などの入った容器を置かない



・プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼれたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### ■内部に異物を入れない



・プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモ리카ード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



### ■指定以外の電圧は使用しない



・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

## ⚠ 警告

### ■必ずアース線を接続して



- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



### ■電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

### ■落としたり、破損したときは



- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

### ■異常な状態で使用しない



- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

### ■分解しないでください



- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご依頼ください。

### ■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

### ■ヘッド清掃液の取り扱いについて



- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違っって飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

## ⚠ 注意

### ■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

### ■持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

## ⚠ 注意

### ■電源



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

### ■電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。

### ■ヒューズの交換



- ヒューズを交換するときは、必ず、電源コードをコンセントから抜いてください。

### ■カバー



- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

### ■サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。

### ■サーマルヘッドの開閉



- サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

### ■ペーパーリッド部の開閉



- ペーパーリッド部の開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

### ■用紙のセット



- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。
- ファンフォールド紙通し口カバーを外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。

### ■長期間ご使用にならないとき



- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

### ■お手入れ・清掃のとき



- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# 設置及び取り扱い上の注意

つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

## ▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

### 水平な場所に置いて

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



### 振動のある場所はやめて

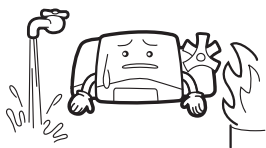
振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



### 高温・多湿に注意して

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



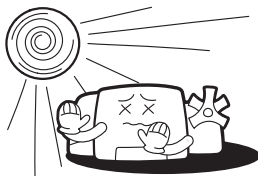
### ほこりを避けて

ほこりがつくとききれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。

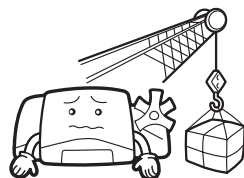


### 直射日光はきらいです

本機は光学センサーを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサーが誤動作を起こすことがあります。印字するとき必ずカバーを閉じてください。

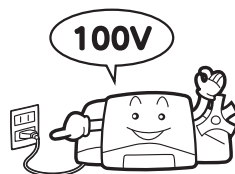


クレーンやプレス機などのそばには置かないでクレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



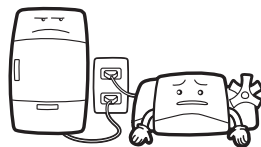
## ▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



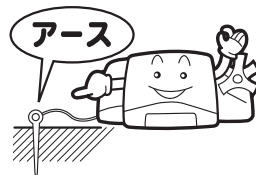
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



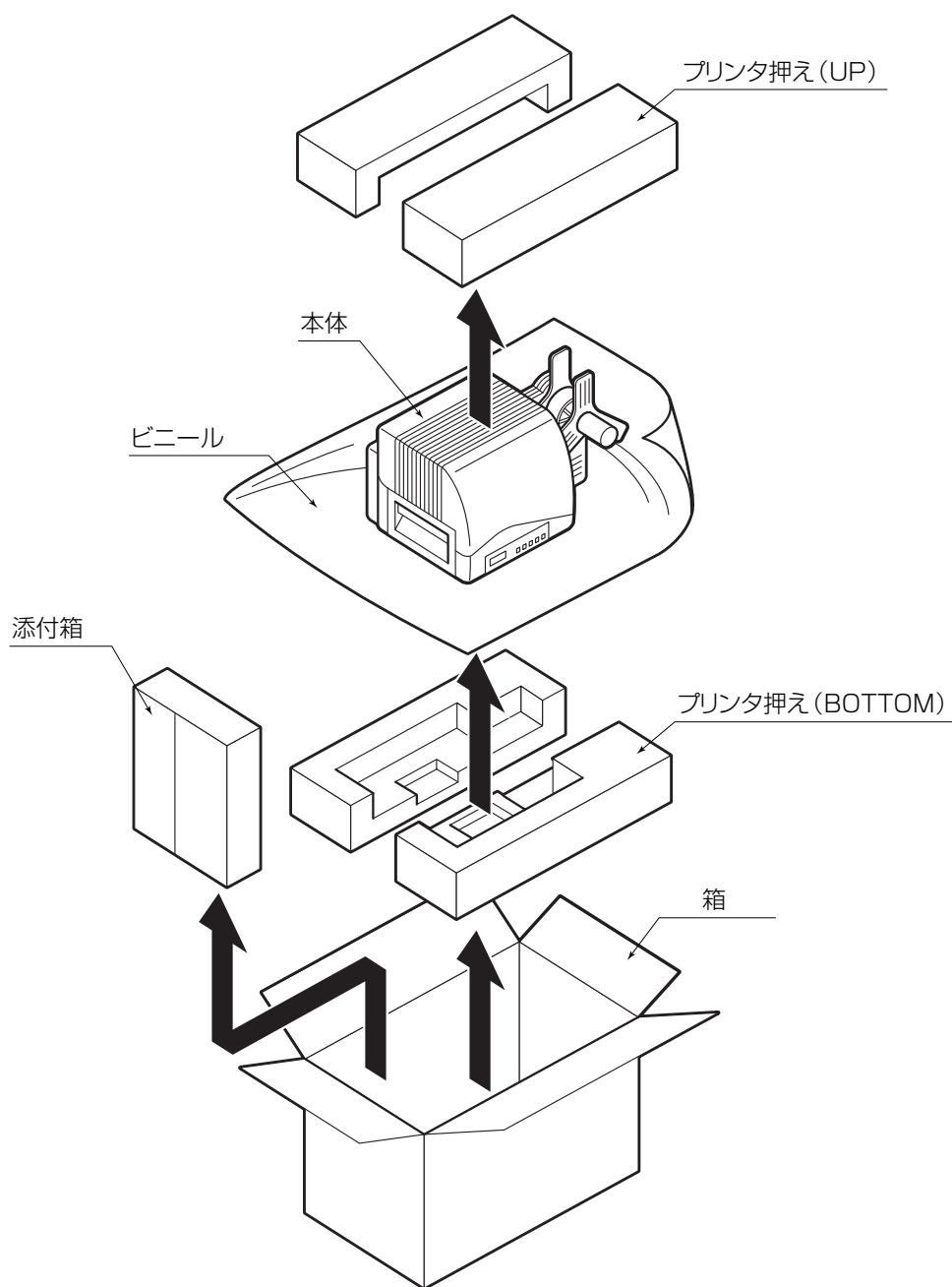
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



# 箱から出しましょう

本機を箱から出して設置します。  
それでは箱を開けましょう。



※緩衝剤（プリンタ押えのプロテクタパット等）の形状が一部異なる場合があります。

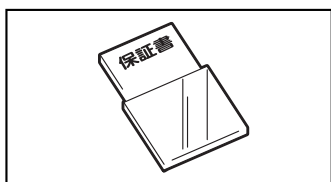
## 添付品の確認

箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。

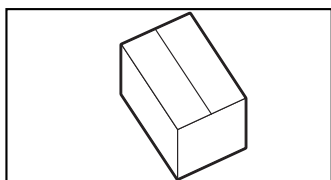
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



### ▲保証書と箱は大切に



本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



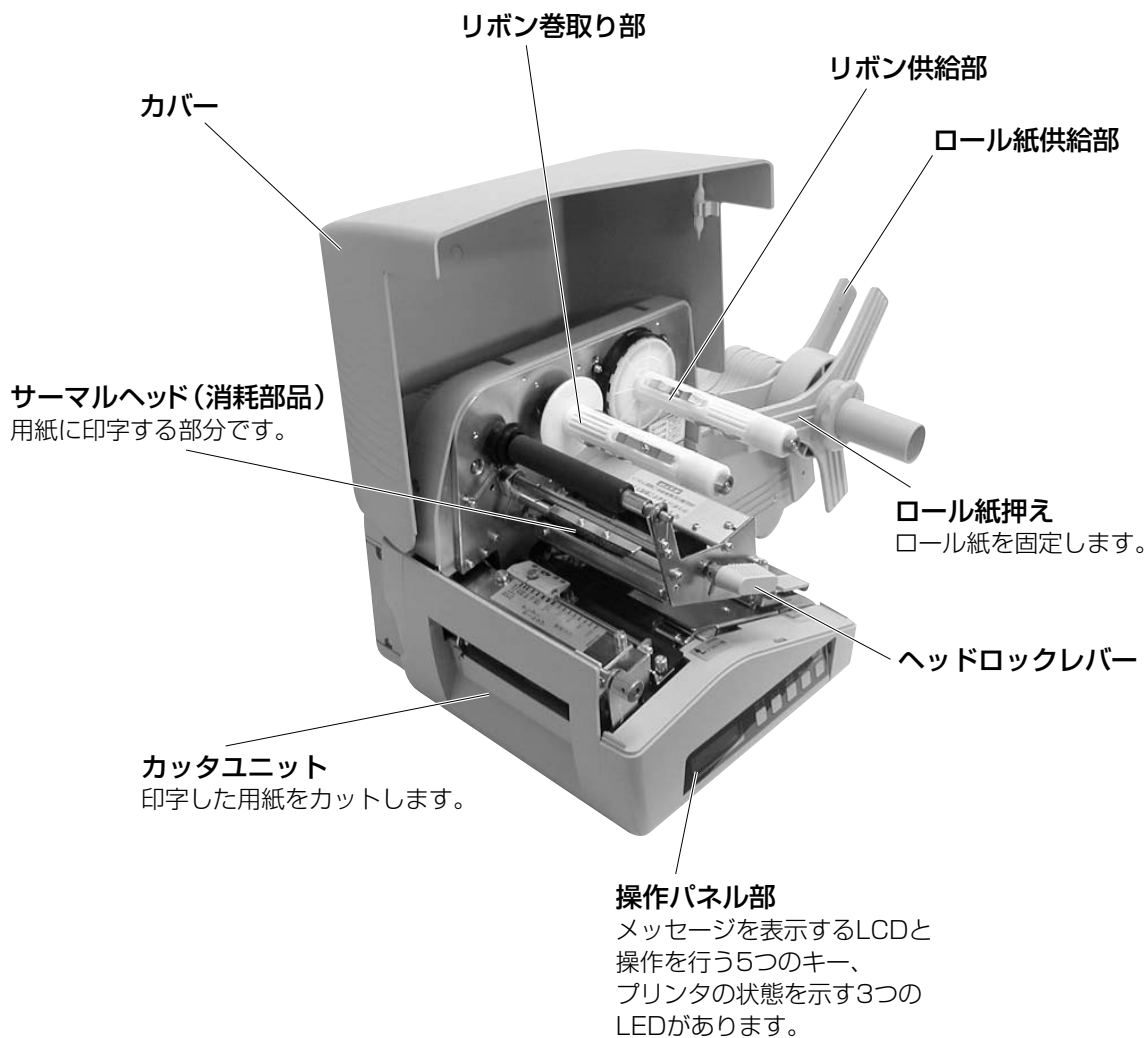
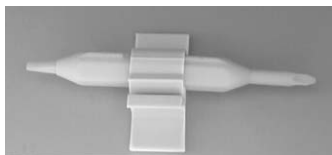
また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え（上下、各2個）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただきます。



# 各部の名称

## ▲プリンタ本体

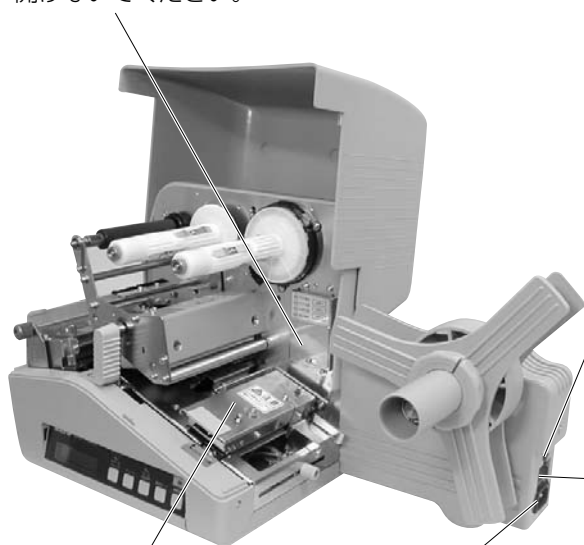
### ボリューム調整用ドライバ





### ディップスイッチカバー

プリンタの動作条件を決めるディップスイッチが入っています。サービスマンが設定しますので、開けないでください。



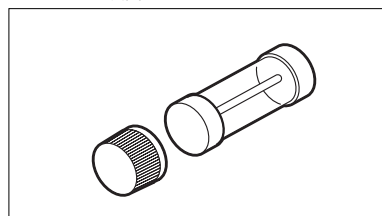
ペーパーリッド

### ヒューズカバー

ヒューズが、中に入っています。

### ヒューズ

本プリンタに一定以上の電流が流れるとヒューズが切れて、プリンタを故障から守ります。



### 電源スイッチ

本機の電源を入れるとき、切るときに使用します。  
I 側に押すと電源が入ります。  
O 側に押すと電源が切れます。

### AC入力電源端子（電源コネクタ）

電源コードを差し込み、本プリンタに電源を供給します。



オプションカード  
スロット

RS232C

オプションコネクタ

### インタフェーススロット

インタフェースボード（オプション）を差し込みます。

## ▲操作パネル部

操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。  
メッセージは、半角サイズの英数字で表示されます。

### ●LED

プリンタの状態を表示します。

#### オンライン

プリンタが印字可能か、データ通信可能かを表示します。

**点灯時（スタートまたはオンライン状態）**

：印字、データ通信ができます。

**消灯時（ストップまたはオフライン状態）**

：印字、データ通信ができません。

#### LCD（ディスプレイ）

エラーメッセージ、操作メッセージを表示します。

#### エラー

プリンタにエラーが発生したとき  
点灯または点滅します。

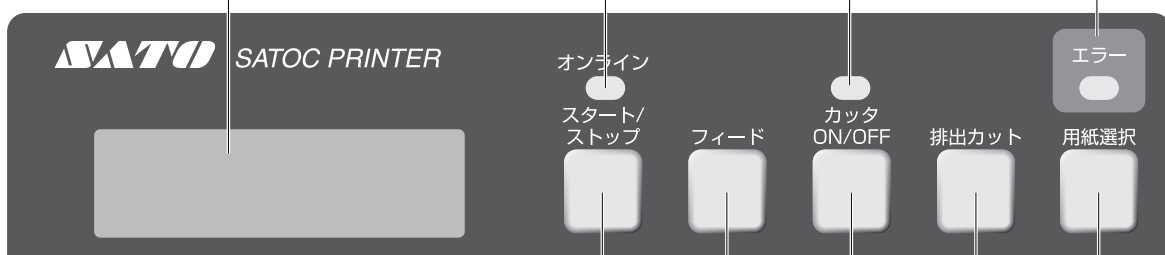
※エラーの詳細は、「P47～ あれ？どうしたのかな？」を参照してください。

#### カッタON/OFF

カッタ動作の状態を表示します。

**点灯時**：カッタ動作を行います。

**消灯時**：カッタ動作を行いません。



### ●操作キー

プリンタの操作を行います。

※フィード・キー、カッタON/OFF・キー、  
用紙選択・キーは、オンラインのLEDが、  
消灯時（ストップ時）のみ有効です。

#### スタート/ストップ キー

印字のスタート/ストップ及び  
データ送受信のオン/オフを  
切り替えます。

1回押す度にオンラインのLEDが、  
点いたり消えたりします。

#### フィード キー

用紙の紙送りをします。

1回押すと1枚分の用紙を送ります。

※電源をONにした直後、また用紙をセットしたとき  
など用紙が、正規の位置にない場合があります。  
このような場合には、フィード・キーを押して必  
ず用紙を正規の位置に合わせてください。

#### カッタON/OFF キー

カッタ動作のオン/オフを切り替えます。

1回押す度にカッタON/OFFのLEDが点いたり消えたりします。

#### 排出カッタ キー

プリンタ内部にある印字した用紙を全て排出します。

カッタのオン/オフによって動作が変わります。

※詳しい操作は「電源を入れてみましょう、用紙を  
排出する」を参照してください。

#### 用紙選択 キー

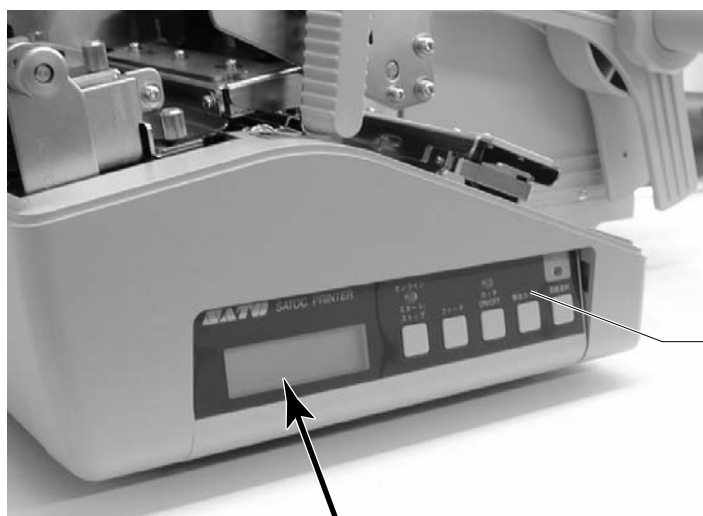
本プリンタで使える用紙を選択します。

1回押す度に選択できる用紙の種類が変わります。

※詳しい操作は「動かしてみましょう」  
詳しい操作・オフライン操作を参照してください。

操作パネルは約15°の角度で傾ける事ができます。  
LCDやLEDが見やすい位置、キー操作しやすい位置に調整してください。

### • 傾ける場合



操作パネル

操作パネルの上を“カッチ”と音がするまで押してください。

### • 元に戻す場合



レバー

操作パネル

レバーを矢印の方向へ動かしてください。

# オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

## オプションの種類

### スタッカユニット

印字を終えてプリンタから出てくるカットされたタグを1枚1枚順番に積み重ねて揃えます。



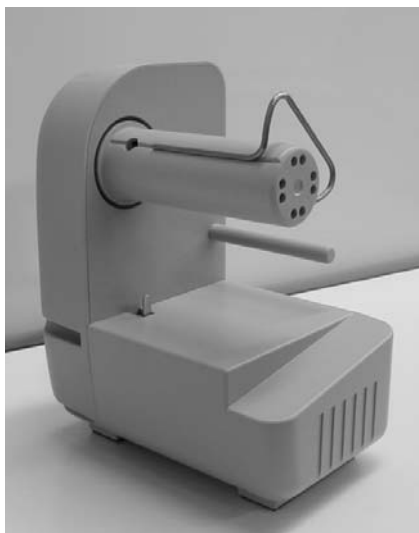
標準 (STT402e)



大型 (STT400e)

### 巻取機

印字を終えてプリンタから出てくるラベルを巻取ります。



(RWT401e)

### ▲メモ리카ード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。

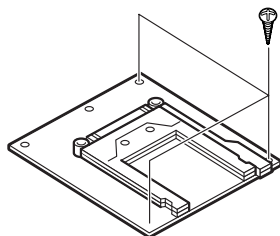
メモ리카ードは、1M、2MバイトTYPE I、II（JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1仕様準拠）SRAMカードを用意しております。

### ▲漢字アウトラインフォントカード

漢字を拡大してギザギザが出ない、漢字フォントデータが記憶されております。

### ▲メモ리카ード基板

メモ리카ードや漢字アウトラインフォントカードを使用する場合に必要な基板です。



### ▲インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- IEEE1284インタフェースボード
- USBインタフェースボード
- LANインタフェースボード
- セントロニクスインタフェースボード



インタフェースボード

※ご不明な点がございましたら、購入された販売店へご確認ください。



#### 注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。

インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

## スタッカユニット、巻取機との接続について



### 注意

プリンタ本体とオプションのスタッカユニット（標準、大型）や巻取機とのオプション・コネクタによる接続や取り外しを行なう場合には、必ず電源を切った状態で行なってください。



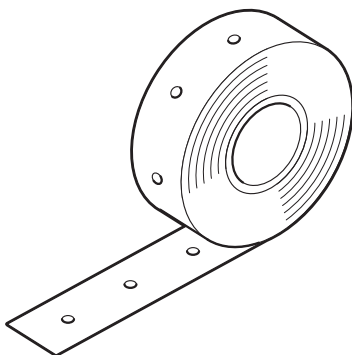
# 用紙の種類とセットのしかた

本プリンタの用紙は、当社製純正品を必ずお使いください。  
規格以外の用紙は使用しないでください。

本プリンタは、タグ4種類、ラベル2種類の合計6種類の用紙タイプを使用できます。  
タグとラベルでは、用紙のセットの方法が異なります。

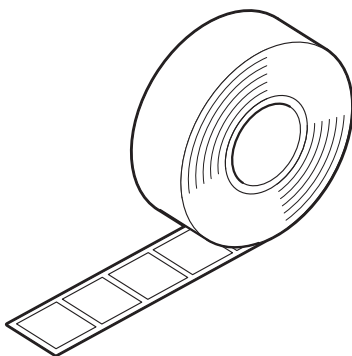
## タグ

裏にノリが付いていない用紙をタグと言います。ホール（穴）がついています。  
カッタユニットでカットすることができます。



## ラベル

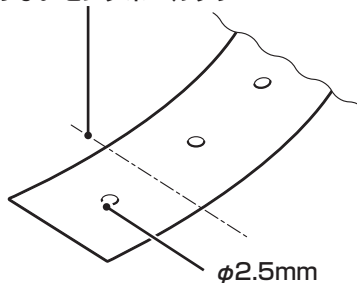
裏にノリが付いている用紙をラベルと言います。はがして使います。



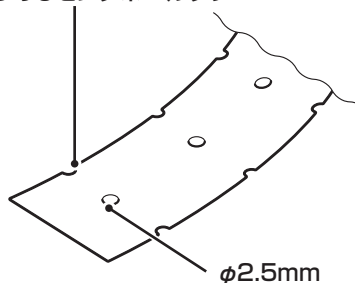
### ● センタホールタグ

タグ幅のまん中にホール（ $\phi 2.5\text{mm}$ ）があります。

カドのないセンタホールタグ



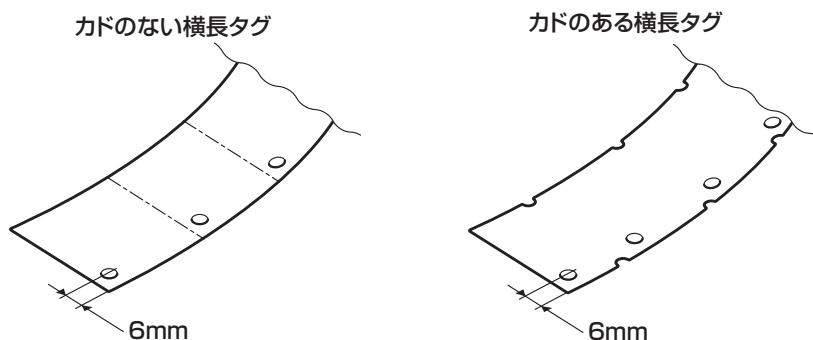
カドのあるセンタホールタグ





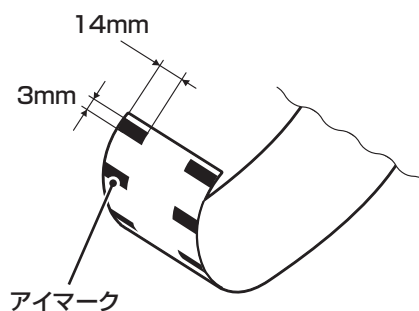
## ●横長タグ

タグ幅の側端にホール（用紙の側端から 6 mmの位置がホールの中心です）があります。



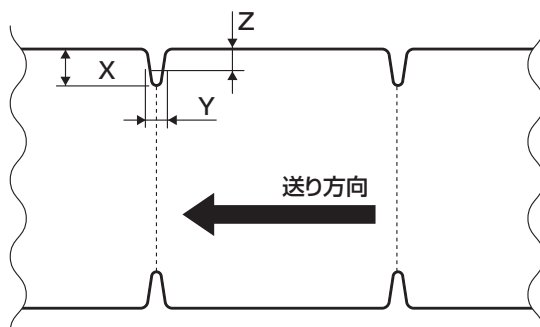
## ●アイマークタグ

アイマークタグは、タグの裏面にアイマークが印刷されています。



## ●角Rタグ

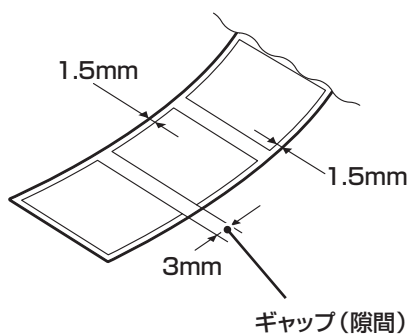
角Rタグは、センタホールタグまたは、横長タグの角のあるタイプより、更に深いものをいいます。  
角Rタグの角は、次の寸法以内のものを使用してください。



X : 深さ	3.75mm以上
Y : 幅	$2\text{mm} < Y < 3\text{mm}$
Z : 角Rセンタ位置	2.5mm

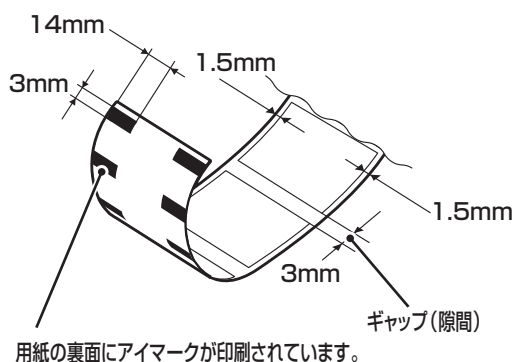
●ギャップラベル

ラベルとラベルの間にギャップ(隙間)があります。



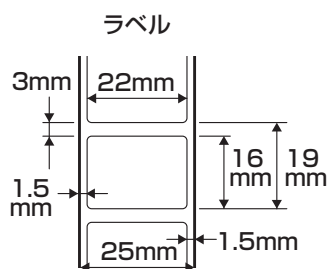
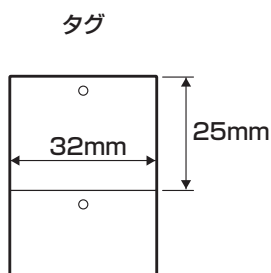
●アイマークラベル

ギャップラベルの裏にアイマークが印刷されています。

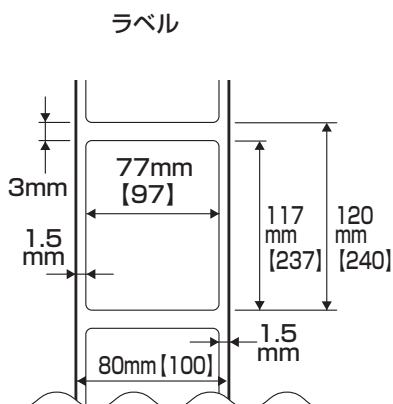
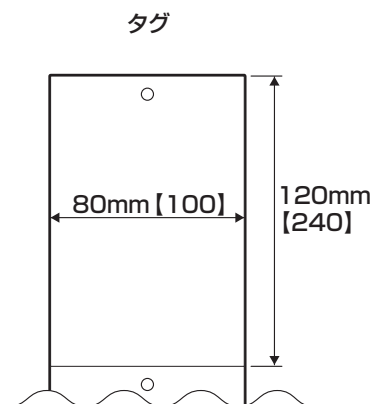


▲用紙サイズ

●最小サイズ



●最大サイズ



注：【 】内の数値は、ディップスイッチ（DIPSW3-3）にて拡張印字を指定した場合の用紙サイズです。

## 用紙（タグ・ラベル）のセット

用紙は当社純正製品を必ずお使いください。規格以外の製品は、使用しないでください。

1

電源を入れた状態で、カバーを開きます。



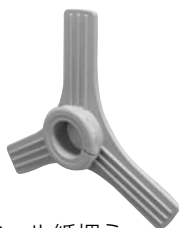
カバー

電源スイッチ

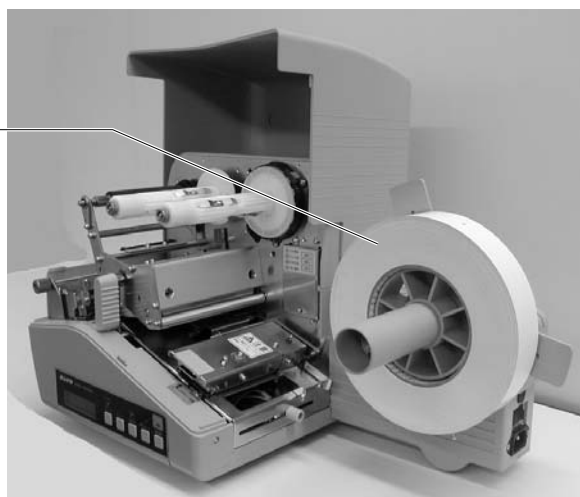
2

ロール紙押えを外し、タグ・ラベルをセットします。

( タグ  
ラベル )

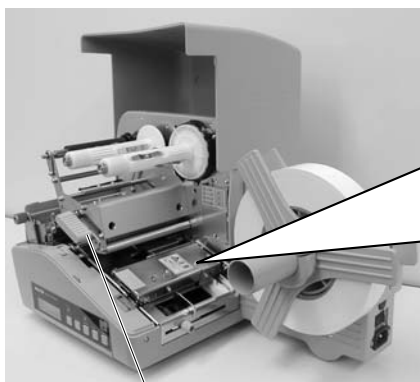


ロール紙押え



# 3

ペーパーリッドの紫色のプレート下のラッチレバーを軽く引き上げます。ペーパーリッドが自然に持ちあがります。又、紫色のヘッドロックレバーを開いてプリンタ内部に用紙が残っていないか確認してください。残っている場合は、用紙を取り出し、ヘッドロックレバーを閉めてください。



ヘッドロックレバー

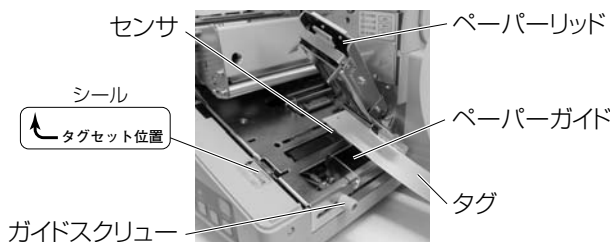
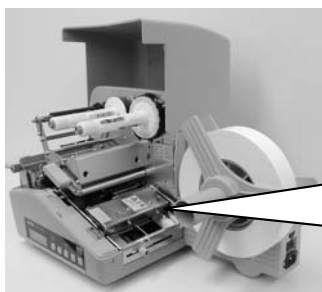


ペーパーリッド

# 4

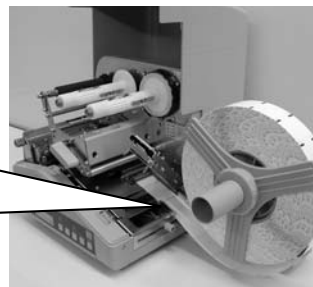
## (タグのとき)

ペーパーリッドの下にあるタグセット位置に合わせてタグの先端をセットし、紫色のガイドスクリューを緩めて、タグの幅にペーパーガイドを調整します。調整後は、ガイドスクリューを締めてください。



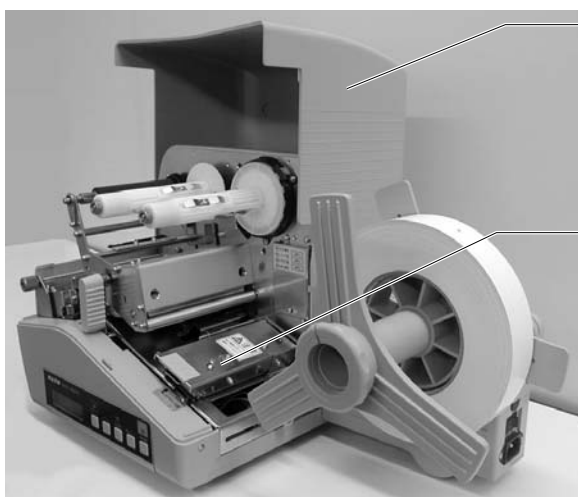
## (ラベルのとき)

プラテンローラの横にあるラベルセット位置に合わせてラベルの先端をセットし、紫色のガイドスクリューを緩めて、ラベルの幅にペーパーガイドを調整します。調整後は、ガイドスクリューを締めてください。



5

ペーパーリッドの紫色のプレートを押し下げ、ペーパーリッドをセットします。  
セット後は、カバーを閉めます。

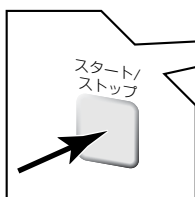


カバー

ペーパーリッド

6

**スタート/ストップ** キーを押します。用紙サイズの測定や位置合わせのためタグが数枚プリンタより排出されます。



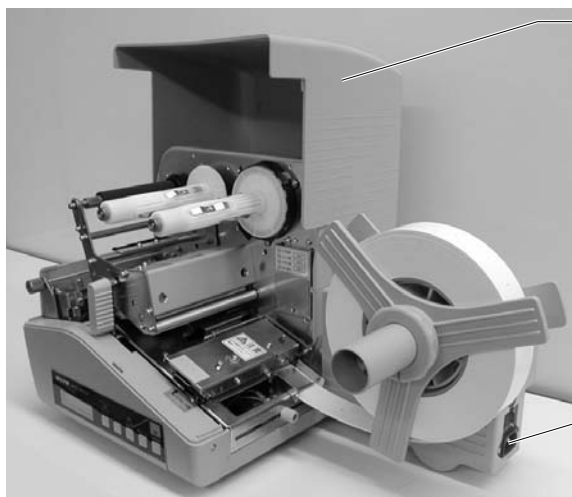
※カーボンリボンのセットが必要な時は、「カーボンリボンのセット」(P.17～)を参照してください。  
※カットセンサの位置調整が必要な時は、「カットセンサの位置調整」(P.20)を参照してください。

## カーボンリボンのセット

カーボンリボンは当社純正製品を必ずお使いください。規格以外の製品は、使用しないでください。

1

電源を入れた状態で、カバーを開けます。

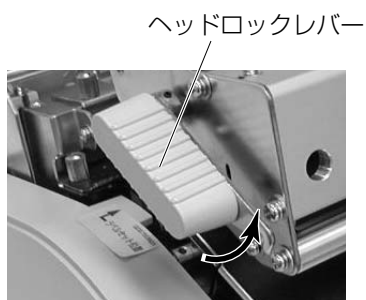


カバー

電源スイッチ

2

紫色のヘッドロックレバーを矢印の方向に回します。サーマルヘッドがオープンします。

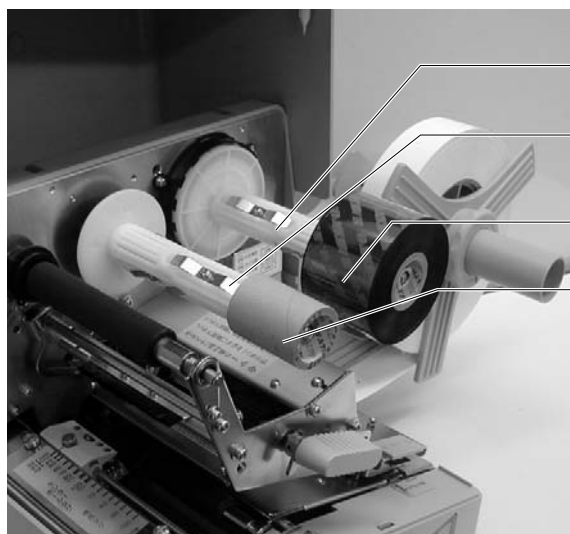


ヘッドロックレバー



3

リボン供給部にカーボンリボン、リボン巻取り部にリボンコア（前回供給していたカーボンリボンのコアまたは添付品）を取り付けます。



リボン供給部

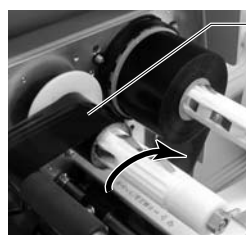
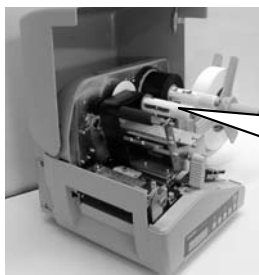
リボン巻取り部

カーボンリボン

リボンコア

4

リボンコアにカーボンリボンの端をテープで貼り付け、数回矢印の方向に、巻き取ります。カーボンリボンが、ルート図通りにセットされていることを確認してください。



テープ

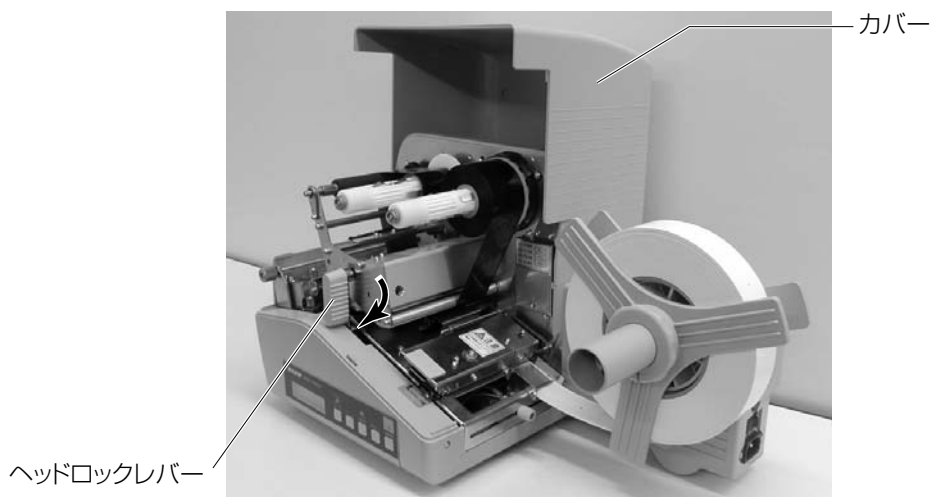
カーボンリボン





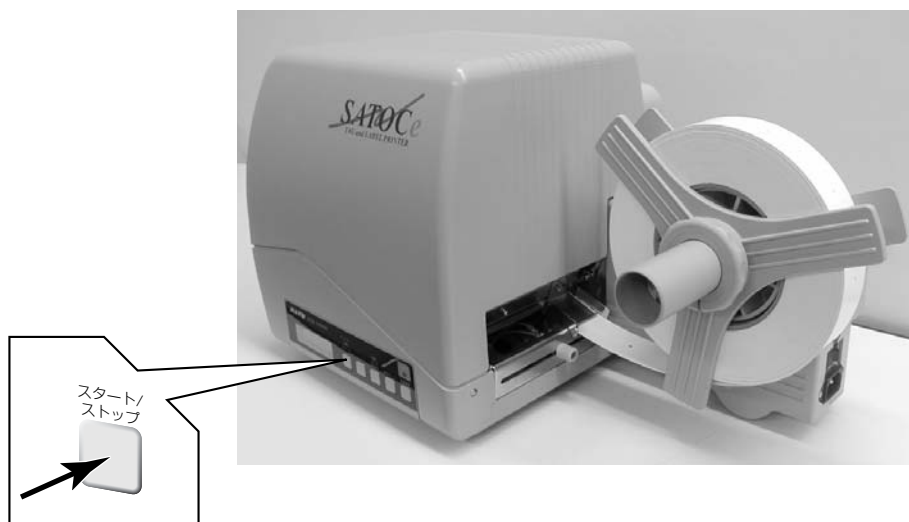
5

紫色のヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。  
サーマルヘッドを閉じた後は、カバーを閉めます。



6

用紙の位置がズれている場合があります。用紙の位置合わせのため スタート／ストップ キーを押してください。



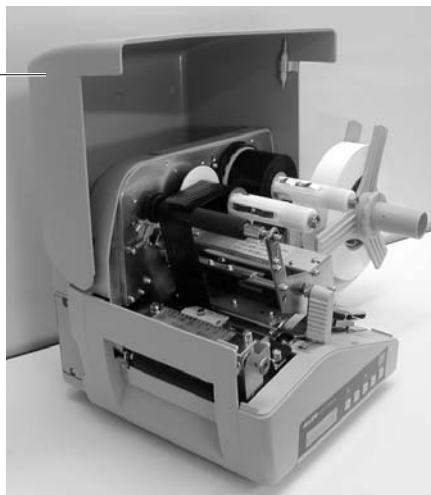
## カットセンサの位置調整

本調整は、センタホールタグ、横長タグ、角Rタグを使用する時のみ行います。

1

カバーを開けます。

カバー

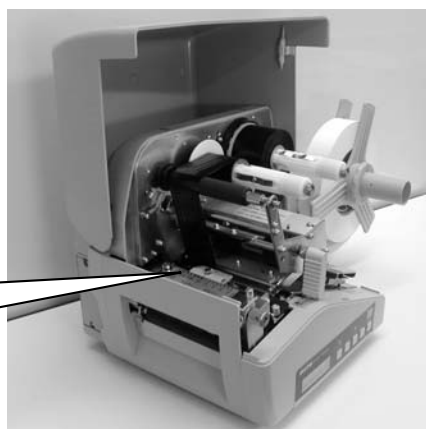
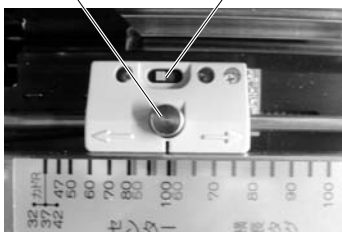


2

カッタユニットの紫色のカットセンサの調整ネジを緩めます。

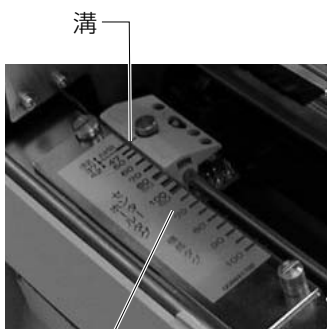
調整ネジ

カットセンサ

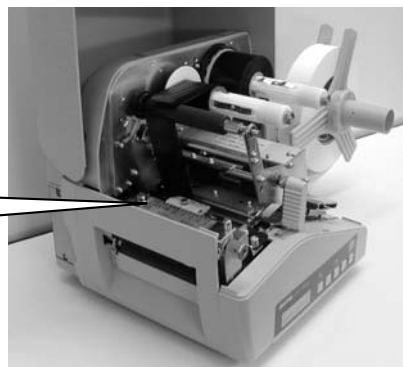


3

カットセンサの調整ネジの側にある溝と、カッタユニット上面にあるゲージの目盛りを合わせます。目盛りの位置は、ご使用になる用紙により異なります。



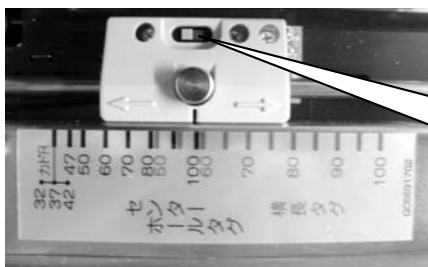
ゲージ



センタホールタグ : 黒い色の目盛り  
 横長タブ : 青い色の目盛り  
 角Rタグ : プリンタの一番奥

4

使用する用紙に合わせ、カットセンサのスイッチを切り換えてください。



↓  
用紙排出方向

他の用紙の場合



角Rタグの場合

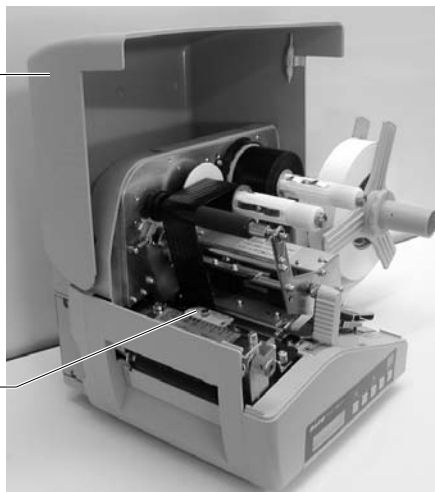


5

調整後は、カットセンサの調整ネジを締め、カバーを閉じます。

カバー

調整ネジ



## セットしたら確認してください

用紙・カーボンリボンをセットしたら、次のことを確認してください。

\* 用紙・カーボンリボンは、きちんとセットされていますか。

\* 用紙・カーボンリボンの種類は合っていますか。

\* サーマルヘッドは閉じていますか？

\* カバーは閉まっていますか？



### 注意

- 用紙、カーボンリボンをセットした後、用紙が正規の位置にない場合があります。このような場合には、**フィード**キーを押して必ず用紙を正規の位置にあわせてください。
- 印字中に電源を切ったり電源切断時に用紙交換を行った場合は、印字の1枚目は正規の位置に印字されず、その後白無地の用紙を数枚排出してしまう場合（指定されている用紙により異なります）がありますので、印字中の場合は、**スタート/ストップ**キーにより一旦停止してから電源を切ってください。また用紙交換は、1度電源を入れてから行ってください。

# 電源を入れてみましょう

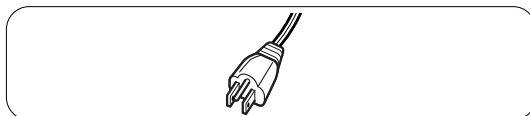
電源コードのセット手順を説明します。

## 電源のセット

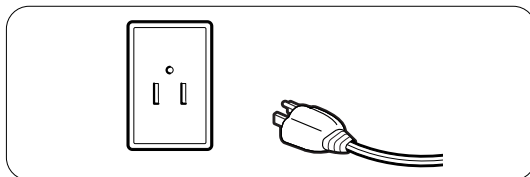
設置が終わったら、つぎのように電源をセットします。

### ▲電源コードとコンセント

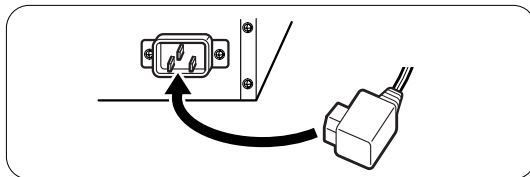
添付の電源コードのプラグの形は、イラストのように3極タイプになっています。



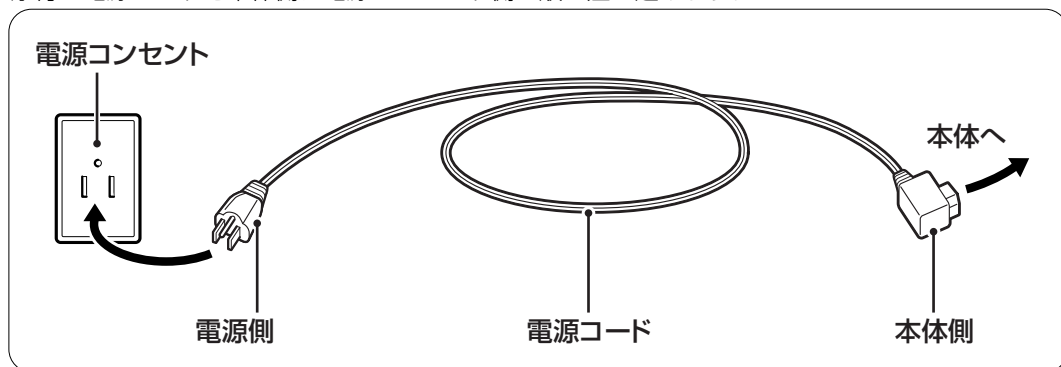
3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。  
電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。



電源コードのコンセントを差し込むときは、コンセントの上下を確認してください。  
本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。



添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。

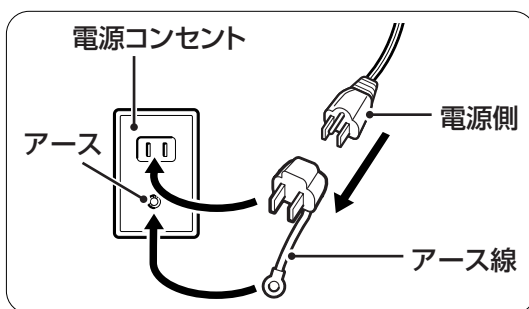


電源コンセントが2極タイプのときは、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。



### 警告

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

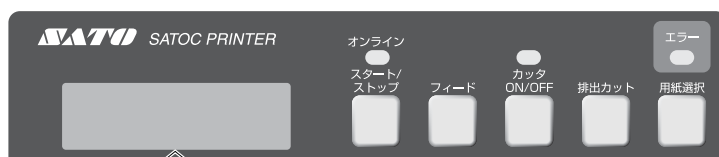


## 電源を入れてみましょう

電源スイッチを入れます。「I」と書いてある側にスイッチを押してください。



電源を入ると、ディスプレイに「ONLINE」が表示され、オンラインのLEDが点灯します。



ONLINE  
000000 00000000

- **トータル枚数**：プリンタの電源を入れてから電源が切れるまでに印字した枚数を一枚毎に加算します。
- **アイテム枚数**：受信した印字発行枚数を表示します。一枚印字する毎に減算します。

## あれ？おかしいな

今まで行った準備が正しく出来ていないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示され、エラーLEDが点灯または点滅します。表示されたエラーメッセージ（詳しくは、「あれ？どうしたのかな？」を参照してください）を確認の上、準備を始めからやり直してください。

## 電源を切りましょう

いきなり電源を切らないで、電源を切っても良いか、次のことを確認しましょう。

### ▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことを行ってから、電源を切ってください。

### ●用紙を排出する

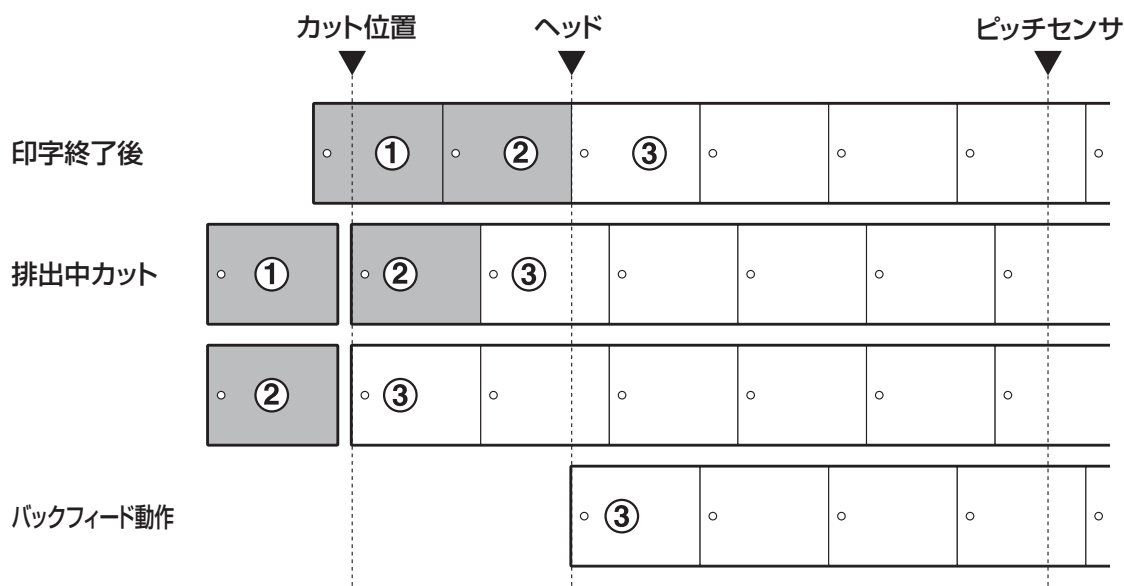
本プリンタは、印字終了後プリンタ内部に印字した用紙が残ります。

**排出カット** キーを押して、プリンタ内部に残っている印字した用紙を全て取り出します。（排出カット動作）

排出カット動作は、カットのオン／オフによって動作が変わります。

#### カットオン（カットON／OFF LED点灯時）

：プリンタ内部に残った印字した用紙を全て1枚毎カットし、用紙を1枚毎、排出します。



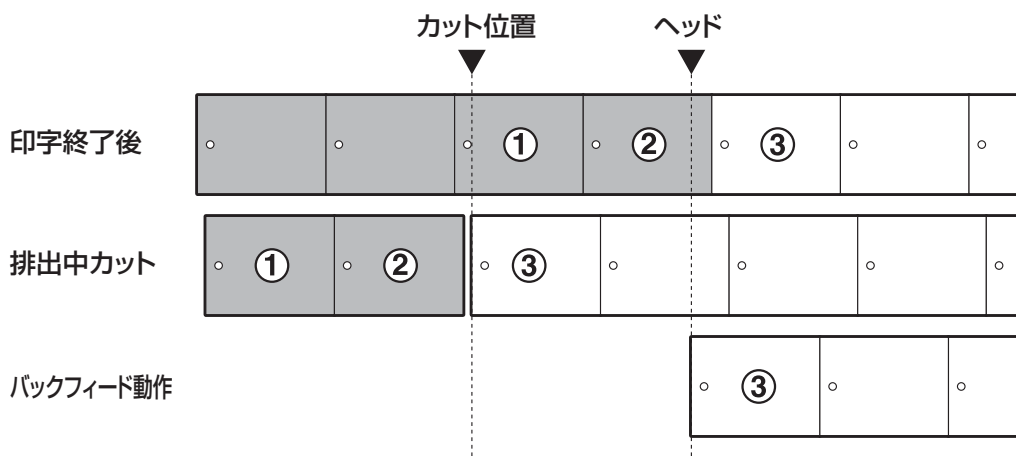
#### 操作

1. 印字が終了したとき、印字した用紙①、②はプリンタ内部に残っています。（用紙のサイズにより枚数は変化します）  
③は、印字していない用紙です。
2. オンライン状態（オンラインのLEDが点灯）になっていることを確認し、**排出カット** キーを押します。  
オンラインのLEDが消灯している場合は、**スタート／ストップ** キーを押して、オンライン状態（オンラインのLEDが点灯）になってから **排出カット** キーを押します。
3. ①の用紙がカット位置まで移動し、カットされます。  
次に②の用紙がカット位置まで移動し、カットされます。
4. ③の用紙がヘッド位置まで戻り（バックフィード）停止します。



### カットオフ（カットON/OFF LED消灯時）

：印字した用紙を全て排出した後、カットします。  
連続した用紙の最後をカットします。



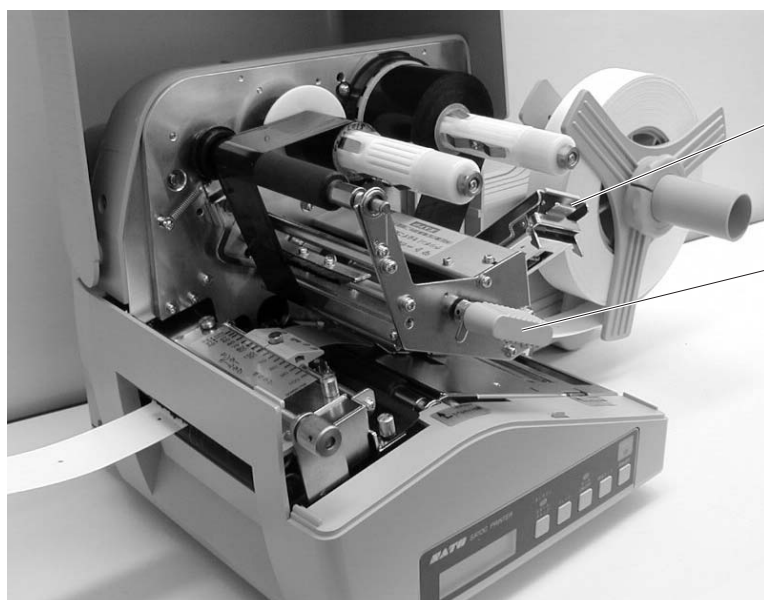
### 操作

1. 印字が終了したとき、印字した用紙①、②はプリンタ内部に残っています。（用紙のサイズにより枚数は変化します）  
③は、印字していない用紙です。
2. オンライン状態（オンラインのLEDが点灯）になっていることを確認し、**排出カット** キーを押します。  
オンラインのLEDが消灯している場合は、**スタート/ストップ** キーを押して、オンライン状態（オンラインのLEDが点灯）になってから**排出カット** キーを押します。
3. ②の用紙がカット位置まで移動し、カットされます。  
②の用紙がカット位置まで移動し、カットされるまでカット動作は行いません。
4. ③の用紙がヘッド位置まで戻り（バックフィード）停止します。

これらの排出カット動作は、ホスト（コンピュータ）からのコマンドでも行うことができます。

詳しくは、添付品の「アクセサリCD-ROM」を参照してください。

## ●用紙の巻き戻し方法



ペーパーリッド

ヘッドロックレバー

- ① ペーパーリッドを持ちあげ、ヘッドロックレバーを回してヘッドを上げてください。



上部カットローラ

- ② 上部カットローラを上を持ちあげながら用紙を巻き戻してください。

### 用紙の巻き戻し方

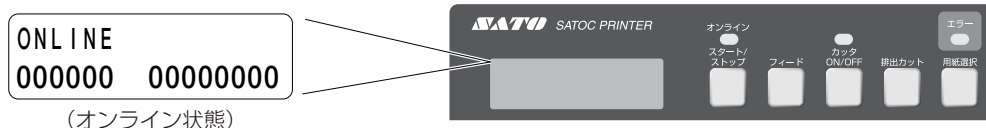
カットローラの外まで排出されている用紙を巻き戻す場合は、上部カットローラを手で上に持ち上げながら、用紙を巻き戻してください。

### ⚠ 注意

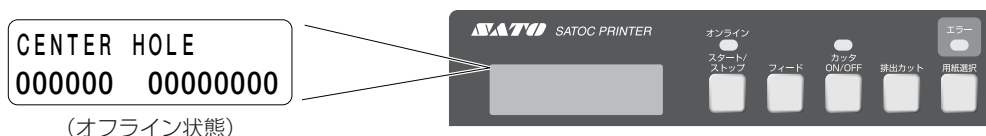
用紙を巻き戻すときは、必ず電源を切ってから行ってください。

## ●オフライン状態にする

プリンタの電源を切るときは、オフライン状態（オンラインのLEDが消灯）になっていることを確認してください。



オンラインのLEDが点灯しているときは、オンライン状態です。**スタート/ストップ** キーを押してください。



オフライン状態のときは、オンラインのLEDが消灯し、選択している用紙が表示されます。（上記表示は、タグセンタホールが選択されています）

選択された用紙により表示が変わります。

（用紙選択は、「動かしてみましょう」のオフライン操作・用紙選択を参照してください）

## ●電源を切る

オフライン状態（オンラインのLEDが消灯）、用紙の取り出しを確認してから電源を切ります。

### ⚠ 注意

印字中に電源を切ったり、電源切断時に用紙交換を行った場合は、印字の1枚目は正規の位置に印字されず、その後白無地の用紙を数枚排出してしまう場合（指定されている用紙により異なります）がありますので、印字中の場合は**スタート/ストップ** キーにより一旦停止してから電源を切ってください。  
用紙交換は必ず電源投入中に行ってください。

# 動かしてみましよう

本機を動かしてみましよう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

## 動かしてみる前に

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。

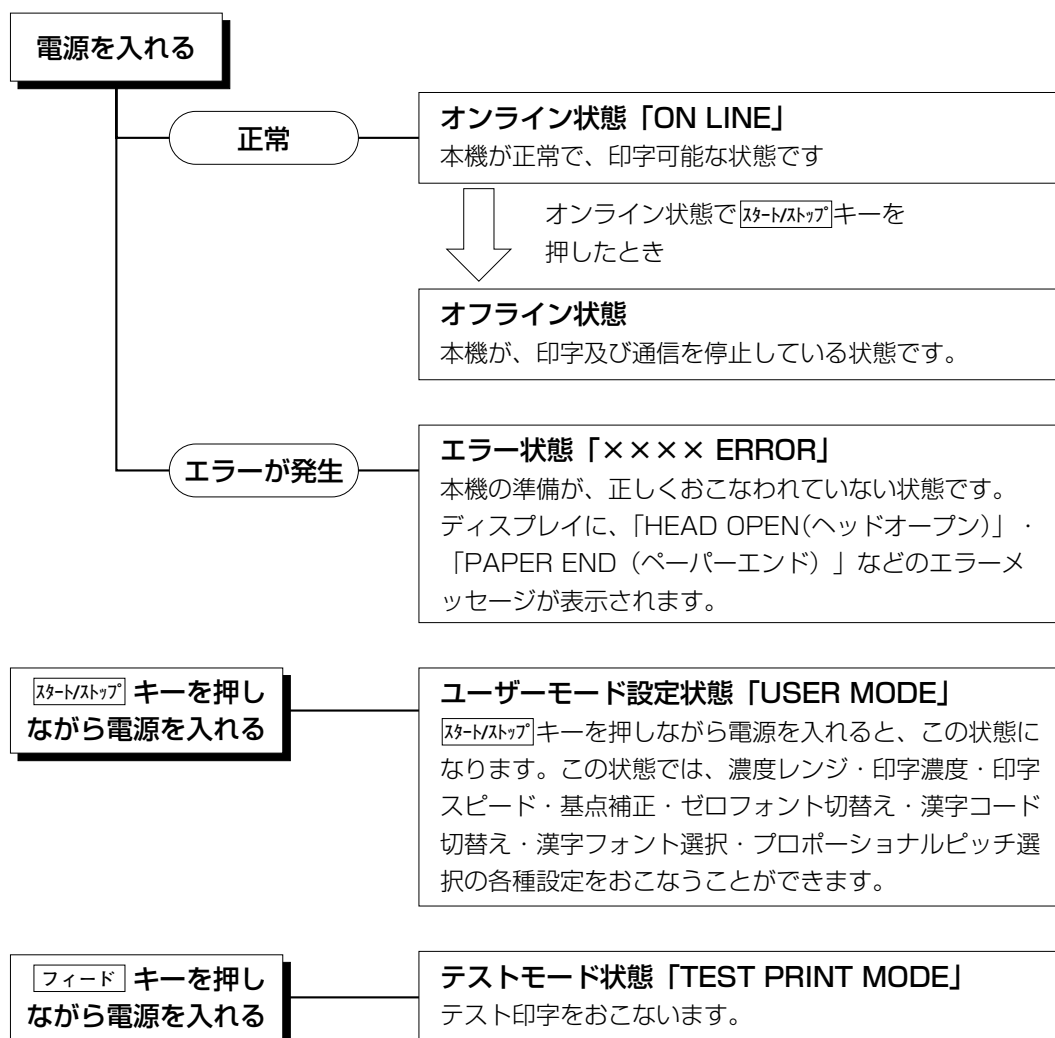
本機は、操作パネルにある5つのキーで、簡単に操作できます。

5つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

### ▲操作の流れ

本機はオンライン・オフライン・エラー・ユーザーモード・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



## ▲オンライン操作

プリンタがオンライン状態（オンラインのLEDが点灯）のとき、次の操作が出来ます。

### オンライン状態

プリンタが正常な状態で、印字、データ通信が可能な状態です。



### 操作

- プリンタに接続したホスト（コンピュータ等）からデータを送り、印字をスタートさせます。
- スタート/ストップ** キーを押して、オフライン状態（オンラインのLEDが消灯）に切りかえたり、印字を中断することが出来ます。
- 排出カット** キーを押して、排出カット動作が出来ます。  
排出カットとは、サーマルヘッドからカットユニットの排出口までに残っている、印字した用紙を排出し、カットする動作です。  
用紙カット後は、自動的に用紙がバックフィードして、正規の位置に戻り、ムダを作りません。

### カット動作OFF（カットON／OFFのLEDが消灯）

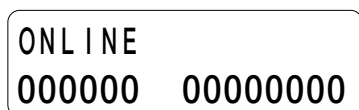
：排出後にカット

### カット動作ON（カットON／OFFのLEDが点灯）

：排出しながら1枚毎にカット

### オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。  
ディスプレイに、つぎのように表示されます。



## ▲オフライン操作

プリンタがオフライン状態（オンラインのLEDが消灯）のとき、次の操作が出来ます。

### オフライン状態

プリンタが印字、データ通信を停止している状態です。



### 操作

- **スタート / ストップ** キーを押して、オンライン状態（オンラインのLEDが点灯）に切り替えます。
- **フィード** キーを押して、用紙 1 枚分の紙送り（フィード動作）をします。  
カット動作がONまたはOFFの時、動作が違います。

#### カット動作ON（カットON/OFFのLEDが点灯）

：用紙を 1 枚カットします。

#### カット動作OFF（カットON/OFFのLEDが消灯）

：用紙を 1 枚送り出します。

用紙のピッチサイズが小さいときは、排出口から用紙がでない場合があります。

- **カットON/OFF** キーを押して、カット動作の設定を切り替えます。  
カット動作とは、印字した用紙を 1 枚毎にカットする動作のことです。**カットON/OFF** キーを押す度に、カットON/OFFのLEDが点いたり消えたりします。

#### カットON/OFFのLEDが点灯

：カット動作ON（1 枚毎カットします）

#### カットON/OFFのLEDが消灯

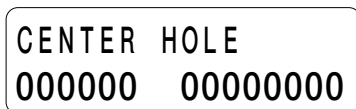
：カット動作OFF（カットしません）

この **カットON/OFF** キーはオフライン状態で印字終了（発行枚数が 0）し、排出カットの動作後、有効となります。印字を中断した場合又は、排出カット動作を行っていない場合は、変更できません。

### オフライン状態

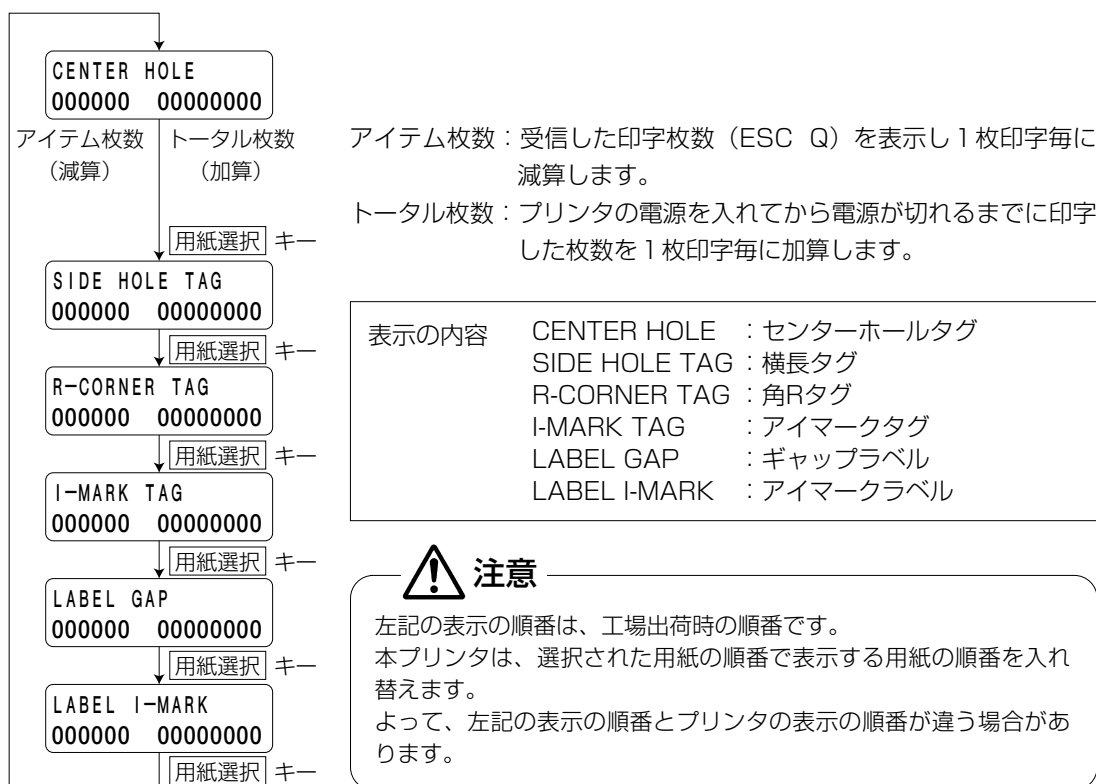
本機が印字停止している状態です。

ディスプレイに、選択している用紙が表示されます。



## ▲用紙選択

- 用紙選択** キーを押して、プリンタにセットした用紙に合わせて選択設定します。  
プリンタにセットした用紙の種類（「用紙・カーボンリボンをセットしましょう」を参照してください）を選択します。
- 用紙選択** キーを押す度に、次のように表示が変わります。セットした用紙の種類に合わせてください。



セットした用紙と用紙選択が違っていると、エラーメッセージ（「あれ？どうしたのかな」を参照してください）が表示されます。用紙を変えた場合は、必ず行ってください。

## ▲印字キャンセル操作

本機が印字動作中に、**スタート/ストップ**キーを押して印字を中断しているとき、印字データ及び受信バッファをクリアする操作ができます。

### 【操作のしかた】

- 印字動作中に**スタート/ストップ**キーを押してオフライン状態に切り替えます。
  - スタート/ストップ**キーを押しながら**フィード**キーを押します。ディスプレイに次のように表示されます。
- スタート/ストップ**キーを押してYESを選択し、**フィード**キーを押すと印字データ及び受信バッファをクリアします。
- NOを選択し、**フィード**キーを押すとオフライン状態になります。
- クリア後は、ディスプレイに次のように表示され、オフライン状態に戻ります。

CANCEL PRINT JOB  
YES NO

CANCEL PRINT JOB  
COMPLETED



## ▲エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。

## ▲ユーザーモード設定操作

ユーザモード設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定するつぎの操作ができます。

- 「DARKNESS RANGE」（濃度レンジ設定）
- 「PRINT DARKNESS」（印字濃度設定）
- 「PRINT SPEED」（印字スピード設定）
- 「PRINT OFF SET」（基点補正）
- 「ZERO SLASH」（ゼロフォント切替え）
- 「JIS CODE」（漢字コード切替え）
- 「KANJI MODE」（漢字フォント選択）
- 「PROPOTIONAL PITCH」（プロポーショナルピッチ選択）

各操作については、詳しくは「印字条件の設定」をご覧ください。

## ▲ユーザーモード設定画面の呼び出し

プリンタの印字条件を設定するために、ユーザーモード設定画面を呼び出します。

**スタート/ストップ** キーを押しながら電源を入れます。

**スタート/ストップ** キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください。

（ブザーが鳴ったらキーから指を離してください）

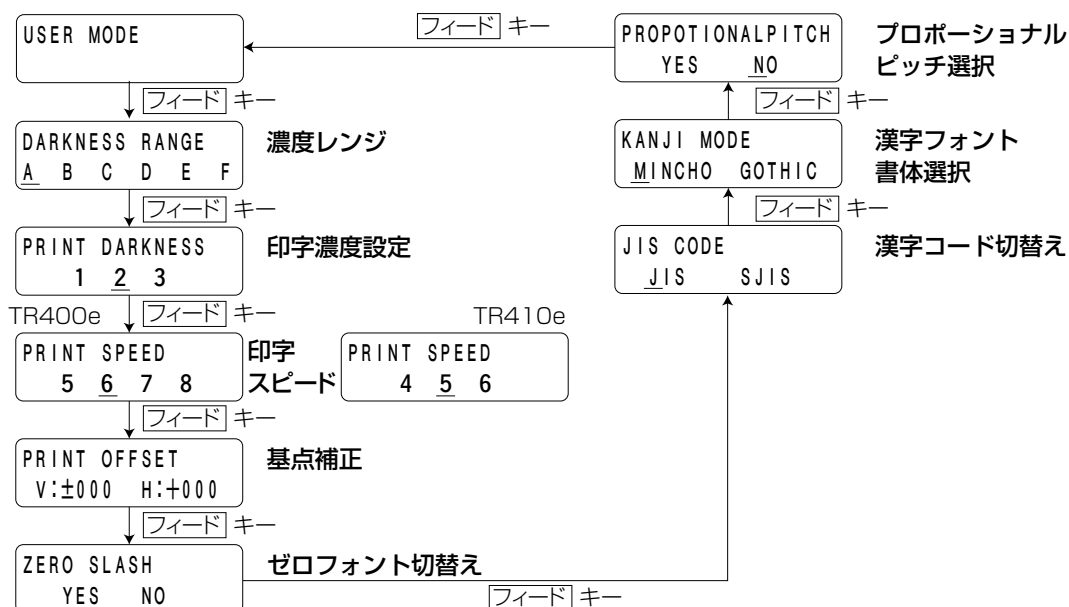
ディスプレイに次のようなメッセージが、表示されます。

USER MODE

メッセージを確認したら、**フィード** キーを押してください。

ディスプレイの表示が、変化します。

ディスプレイの表示は、**フィード** キーを押す度に次の順で変化します。



## 印字条件の設定

ユーザーモード設定状態で、各印字条件の設定をしてみましょう。

設定する前に、本機がユーザーモード設定状態になっているか、ディスプレイの表示を確認してください。

USER MODE

ディスプレイの表示が、ユーザーモードになっていなかったら、いったん電源を切ってください。

**スタート/ストップ** キーを押しながら、電源を入れ直してください。

**注意**

### 設定の登録

各印字条件の設定を登録するためには、設定が終った後、

**フィード** キーを1回押してください。

設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。

フィード

USER MODE

**フィード** キーを押さないかぎり、設定は記録されませんので注意してください。

フィード

**フィード** キーを1回押します。ディスプレイにつぎのように表示されます。

## ①印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを変更することでお客様ご使用の用紙種にあった印字品質を得ることができます。

A = SATOCeにてご使用の用紙

B、C、D、E、Fにつきましては担当営業員にお問い合わせください。

ディスプレイの表示が、つぎのように表示しているか確認してください。

DARKNESS RANGE

A B C D E F

スタート/ストップ

フィード

### 【操作のしかた】

AからFまでは、印字濃度のレンジを表します。

A = SATOCeにてご使用の用紙

B、C、D、E、Fにつきましては担当営業員にお問い合わせください。

カーソルのある値が、設定された濃度レンジになります。

**スタート/ストップ** キーを押すとA→B→C→D→E→F→Aの順に移動します。

**フィード** キーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。

## ②印字濃度設定

印字の濃度（濃さ）を、3段階で設定できます。

ディスプレイの表示は、つぎのようになっています。

PRINT DARKNESS

1 2 3

スタート/ストップ

フィード

## 【操作のしかた】

1 から 3 までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。1 が一番薄く、3 が一番濃くなります。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の濃度を選択します。

**スタート/ストップ** キーを 1 回押すと、カーソルが数字 1 桁右に移動します。

**フィード** キーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変わります。

## ③印字スピード設定

印字のスピード（速さ）を、TR400e は 4 段階、TR410e は 3 段階に設定できます。

用紙又は印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、スピードを下げてください。

印字スピード設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

TR400e の設定画面（4 段階）

PRINT SPEED			
5	6	7	8

TR410e の設定画面（3 段階）

PRINT SPEED		
4	5	6

スタート/  
ストップ



フィード



## 【操作のしかた】

### TR400e

5 から 8 までの数字は、1 秒間に何インチ（1 インチ＝約 25mm）印字するか、表しています。

5（5 インチ／秒＝約 125mm／秒）が一番遅く、8（8 インチ／秒＝約 200mm／秒）が一番速くなります。カーソルのある番号が、設定された速度となります。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを設定したい番号に合わせます。カーソルは、**スタート/ストップ** キーを押す度に、5 → 6 → 7 → 8 → 5 の順に移動します。

設定したい番号にカーソルを合わせたら、**フィード** キーを押して登録します。

### TR410e

4 から 6 までの数字は、1 秒間に何インチ（1 インチ＝約 25mm）印字するか、表しています。

4（4 インチ／秒＝約 100mm／秒）が一番遅く、6（6 インチ／秒＝約 150mm／秒）が一番速くなります。カーソルのある番号が、設定された速度となります。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを設定したい番号に合わせます。カーソルは、**スタート/ストップ** キーを押す度に、4 → 5 → 6 → 4 の順に移動します。

設定したい番号にカーソルを合わせたら、**フィード** キーを押して登録します。

## ④基点補正設定

基点補正設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

PRINT OFFSET	
V:±000	H:±000

スタート/  
ストップ



フィード



### 基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。

本機には、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。

本機では印字基準位置から印字したい位置までの距離をドット単位で設定します。TR400e：1 ドット＝0.125mm です。したがって 8 ドット＝1mm となります。TR410e：1 ドット＝0.083mm です。したがって 12 ドット＝1mm となります。

V：印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後 “-” 印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：フレーム側（奥側） “-”：カバー側（外側）

基点位置指定は、V：±000～400ドット H：±000～400ドットまで指定可能です。

## 【操作のしかた】

### 1 基点位置補正操作

基点位置補正操作画面がディスプレイに表示されると、V（縦方向）の+の下にカーソルがきています。

**スタート/ストップ** キーを1回押すたびに+と-に表示が変わります。

**フィード** キーを押すたびにカーソルが移動します。



### 2 V（縦方向）の移動ドット数の設定

カーソルが、V（縦方向）の数字の下にあります。

**スタート/ストップ** キーを1回押す度に数字が1つ上がります。

**スタート/ストップ** キーを押して合わせたい数字に設定します。

**フィード** キーを押して設定を登録します。

カーソルが、H（横方向）の“+”の下にあります。



### 3 H（横方向）の移動方向の設定

カーソルが、H（横方向）の“+”の下にあります。

**スタート/ストップ** キーを1回押す度に“+”と“-”に変わります。

**スタート/ストップ** キーを押して、移動したい方向に合わせます。

**フィード** キーを押して、設定を登録します。

カーソルが、H（横方向）の数字の下に移動します。



### 4 H（横方向）の移動ドット数の設定

カーソルが、H（横方向）の数字の下にあります。

**スタート/ストップ** キーを1回押す度に数字が1つ上がります。

**スタート/ストップ** キーを押して合わせたい数字に設定します。

**フィード** キーを押して設定を登録します。



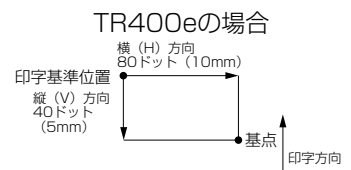
## 【設定しましょう】

それでは実際に設定してみましょう。（TR400eの場合）

印字基準位置から 縦（V）方向に+40ドット（5mm）

横（H）方向に+80ドット（10mm）

離れた位置を基点として、右の図のように印字することにします。



ディスプレイに、基点補正設定画面が表示されていることを確認してください。



**スタート/ストップ** キーで設定値を選択し、**フィード** キーで設定を行い、次の画面表示にしてください。

PRINT OFFSET  
V: +040 H: +080

フィード



**フィード** キーを1回押します。  
ディスプレイの画面は、ゼロフォント切替え設定画面に変わります。  
これで基点補正の設定は終わりです。

## ⑤ ゼロフォント切替え設定

ゼロフォント（漢字は除く）を“0”又は、“Ø”に選択できます。  
ゼロフォント切替え設定画面が次のようにディスプレイに表示されているか確認してください。

切替え対象フォント TR400e: X1~X3, WB, WL,  
アウトラインフォント  
TR410e: WB, WL,  
アウトラインフォント

ZERO SLASH  
YES NO

スタート/  
ストップ



フィード



### 【操作のしかた】

表示の“0”と“Ø”が印字するゼロフォントを表します。YESが“Ø”になります。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを移動し、ゼロフォントを選択します。

**フィード** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイの画面は、「漢字コード切替え設定画面」に変わります。

これでゼロフォント切替えの設定は終了です。

## ⑥ 漢字コード切替え設定

取り扱う漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。

漢字コード切替え設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

JIS CODE  
JIS SJIS

スタート/  
ストップ



フィード



### 【操作のしかた】

表示の“JIS”、“SJIS”が取り扱う漢字コードを表します。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを移動し、漢字コードを設定します。

**フィード** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイの画面は、「漢字フォント書体選択」に変わります。

これで漢字コード切替えの設定は終了です。

## ⑦ 漢字フォント書体選択

印字漢字書体フォントの“明朝体”（MINCHO），“ゴシック体”（GOTHIC）を選択することができます。

漢字フォント書体選択画面がつぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

KANJI MODE  
MINCHO GOTHIC

スタート/  
ストップ



フィード



### 【操作のしかた】

表示の“MINCHO”、“GOTHIC”が漢字フォント書体を表します。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを移動し、漢字フォント書体を設定します。

**フィード** キーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。

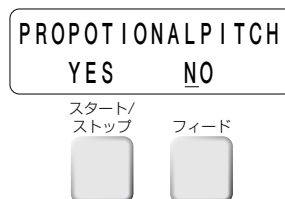
ディスプレイ画面は、「プロポーションナルピッチ選択」に変わります。

これで、漢字フォント書体選択は、終わりです。

## ⑧プロポーションナルピッチ選択

プロポーションナルピッチ処理を選択することができます。

プロポーションナルピッチ処理の選択画面は、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



対象フォントは、×1、×2、×3、×70～×77となります。

### 【操作のしかた】

表示の“YES”（有効）、“NO”（無効）がプロポーションナルピッチ処理の有効、無効を表します。

**スタート/ストップ** キーでカーソルを移動し、有効、無効を設定します。

**フィード** キーを押すと設定が登録されユーザーモードの最初の画面に戻ります。

これでユーザモード設定操作による、プリンタ設定が終了しました。ユーザモード設定を終了するには、一度電源を切ってください。

変更した設定値は、次に電源を入れることで有効となります。

## ▲テストモード操作

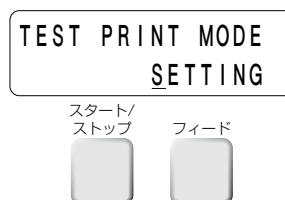
テスト印字をしてみましょう。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

**フィード** キーを押しながら、電源を投入します。

**フィード** キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください（ブザーが鳴ったらキーから指を離してください）。

ディスプレイにつぎのように表示されます。



テスト印字パターンを選択します。

**スタート/ストップ** キーを押すたびに表示が変わります。

“SETTING” 本機設定内容を印字します。

“BARCODE” 本機に搭載しているバーコードを印字します。

“HEADCHECK” 選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。

“MEMORY” 本機に搭載している拡張メモリー内容を印字します。

“FONT” 本機に搭載しているフォント内容を印字します。

“FACTORY” 工場テスト印字を行ないます。

**スタート/ストップ** キーを押して印字したいパターンに合わせます。

**フィード** キーを押します。



テスト印字の用紙サイズを選択します。

**スタート/ストップ** キーを 1 回押すたびに数字が 1 つ上がります。

3 CM → 4 CM → 5 CM → 6 CM → 7 CM → 8 CM → 9 CM → 10 CM → 3 CM と表示がかわるので

**フィード** キーを押し、用紙サイズを決定します。

〈9 CM → 10 CM は DIP SW 3—3 が ON の場合のみ表示〉

用紙サイズを決定するとテスト印字を開始します。

USER TEST PRINT  
PRESS FEED KEY

フィード



テスト印字を止めるためには、**フィード** キーを 1 回押します。

再度、**フィード** キーを押すとテスト印字が再スタートします。

ユーザテスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

## ▲アドバンスドモード操作

ユーザモードから **スタート/ストップ** キーを押しながら、**フィード** キーを同時に押します。

ディスプレイに次のように表示されます。

ADVANCED MODE



オプションカレンダー設定の有無を選択します。〈カレンダーROMが  
付いている場合のみ表示〉

初期値は NO (カレンダー設定しない) です。

**スタート/ストップ** キーを 1 回押すと YES (カレンダー設定する) に、もう一度

**スタート/ストップ** キーを押すと NO (カレンダー設定しない) になります。

**フィード** キーを押します。オプションカレンダー設定が決定され、  
YES 選択の場合カレンダー設定画面へ、NO 選択の場合 ACK 信号の出  
力タイミング設定画面に変わります。

CALENDAR ENABLED  
YES NO



カレンダーの設定をします。〈オプションカレンダー設定 “YES” を  
選択した時のみ表示〉

**スタート/ストップ** キーを 1 回押すと、カーソル位置の数字が 1 つ上がります。

**スタート/ストップ** キーを押して合わせたい数字に設定します。

**フィード** キーを押して、設定した数字を登録します。分の設定を決  
定すると、カレンダー設定が決定され、ディスプレイに次のように表  
示されます。

CALENDAR  
00/00/00 00:00



ACK 信号の出力タイミング設定を行います。BUSY 信号の内側、  
又は BUSY 信号の外側のどちらかを選択することができます。

〈セントロニクスボードが付いている時のみ表示〉

**スタート/ストップ** キーを 1 回押すと ON 状態に、もう一度 **スタート/ストップ** キーを 1  
回押すと OFF 状態になります。(ON の場合は、BUSY 信号の外  
側、OFF の場合は、BUSY 信号の内側になります。)

**フィード** キーを押します。ACK 信号の出力タイミングが決定され、  
ディスプレイに次のように表示されます。

CENTRONICS  
ACK SIGNAL OFF



FAULT信号タイミングを設定します。FAULT信号をSELECT信号と同期する動作にするか、しないかを選択することができます。  
〈セントロニクスボードが付いている時のみ表示〉

**スタート/ストップ** キーを1回押すと、ON状態に、もう一度**スタート/ストップ** キーを1回押すとOFF状態になります。（ONの場合は、SELECT信号と同期します。OFFの場合は、非同期になります。）

**フィード** キーを押します。FAULT SIGNALが決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

CENTRONICS  
FAULT SIGNAL OFF

スタート/  
ストップ



フィード



IEEE1284のACK幅の設定をします。〈IEEE1284ボードが付いている時のみ表示〉

ACK信号幅の設定をします。初期値は0.5μsです。

**スタート/ストップ** キーを押下する毎に0.1μs単位で加算します。10.0μsが最大です。（0.5→0.6→…→10.0→0.5）

**フィード** キーを押します。IEEE1284のACK幅が決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

IEEE1284  
ACK SIGNAL 00.5

スタート/  
ストップ



フィード



アドバンスドモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

ADVANCED MODE

スタート/  
ストップ



フィード



## ▲カードモード操作

アドバンスドモードから**スタート/ストップ** キーを押しながら、**フィード** キーを押します。

ディスプレイに次のように表示されます。

CARD MODE

スタート/  
ストップ



フィード



**フィード** キーを押すと、ディスプレイに次のように表示されます。

カードドライブのドライブ番号設定を行います。カードドライブをドライブ1（本体メモリをドライブ2）にするか、ドライブ2（本体メモリをドライブ1）にするかの設定を行います。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。

1を選択すると、カードスロットが「ドライブ1」になり、本体メモリが「ドライブ2」になります。2を選択すると、カードスロットが「ドライブ2」になり、本体メモリが「ドライブ1」になります。

**フィード** キーを押します。設定内容を決定します。

ディスプレイに次のように表示されます。

CARD DRIVE NO  
1 2

スタート/  
ストップ



フィード



漢字アウトラインカードのコピーを選択します。漢字アウトラインカードを本体メモリへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたアウトラインカードを、本体メモリへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD->MEMORYCOPY  
KANJIOUTLINE Y/N

スタート/  
ストップ



フィード





TRUETYPEフォントが収納されているカードから、TRUETYPEフォントデータを本体メモリへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからTRUETYPEフォントデータを本体メモリへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD->MEMORYCOPY  
TRUETYPEFONT Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



SATOフォントが収納されているカードから、SATOフォントデータを本体メモリへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからSATOフォントデータを、本体メモリへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD->MEMORYCOPY  
SATOFont Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



カードに収納されている全てのデータを、本体メモリへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードの全てのデータを、本体メモリへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD->MEMORYCOPY  
ALL Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



本体メモリに収納されている全てのデータを、カードへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、本体メモリの内容、全てをカードへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

MEMORY->CARDCOPY  
ALL <?MB> Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



プログラムデータが収納されているカードから、本体メモリへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからプログラムデータを、本体メモリへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD->MEMORYCOPY  
PROGRAM Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



本体メモリに収納されているプログラムデータを、カードへコピーします。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、本体メモリに収納されているプログラムデータをカードスロットに装着されたカードへコピーします。

**フィード** キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

MEMORY->CARDCOPY  
PROGRAM Y/N

スタート/  
ストップ



フィード



カードスロットに装着された、カードをフォーマット（初期化）します。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フォーマット（初期化）を行いません。YESを選択すると、フォーマット（初期化）を行います。

**フィード** キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。

CARD FORMAT  
YES NO

スタート/  
ストップ



フィード



本体メモリをフォーマット（初期化）します。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フォーマットを行いません。YESを選択すると、フォーマット（初期化）を行います。

**フィード** キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。

MEMORY FORMAT  
YES NO

スタート/  
ストップ



フィード



カードモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

CARD MODE

スタート/  
ストップ



フィード



## ※コピー中のメッセージ

カードコピーを実行すると、ディスプレイに次のように表示されます。

**スタート/ストップ** キーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、コピーしません。YESを選択すると、コピーを行います。

**フィード** キーを押します。YESが選択された場合、コピーを実行します。

XXXXXXXX START  
YES NO

スタート/  
ストップ



フィード



コピー終了後は、画面表示 3 秒後に元の選択画面に戻ります。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
COPYING

コピー中



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
COMPLETED

コピー終了

スタート/  
ストップ



フィード





通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

## 初期値設定（デフォルトセット）

初期値とは、本機がはじめから記憶している設定値です。

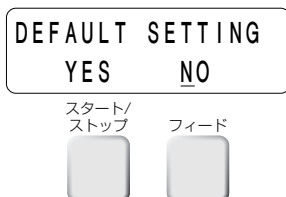
この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本機が記憶している設定値（初期値）に戻します。

### 【操 作】

**スタート/ストップ**キーと**フィード**キーを同時に押しながら、電源を入れます。

ブザーが鳴るまで**スタート/ストップ**キーと**フィード**キーを押し続けてください。

ディスプレイにつぎのように表示されます。（デフォルトセットを行わないで終了するときは、電源を切ってください。）



**スタート/ストップ**キーを押してYESを選択後、**フィード**キーを押すとデフォルトセットを行います。

デフォルトセットを終了するとディスプレイにつぎのように表示されます。

DEFAULT SETTING  
COMPLETED

印字濃度レンジ・印字濃度・印字速度・基点補正・ゼロフォント切替え・漢字コード切替え・漢字フォント切替え・プロポーションアルピッチ設定の各設定値が次の初期値にもどります。

項 目	TR400e	TR410e
印字濃度レンジ	A	
印字濃度	2	
印字速度	6	5
基点補正	+0	
ゼロフォント切替え	NO	
漢字コード切替え	JIS	
漢字フォント切替え	MINCHO	
プロポーションアルピッチ設定	NO	

## ▲ディップスイッチによる設定

ペーパーリッドの奥にあるディップスイッチカバーを開くとディップスイッチがあります。このディップスイッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。

間違えて設定しますとプリンタは正常に動作しません。

プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。

### 電源を切ってあることを確認してください。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。

ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

#### DIPSW1 (RS-232Cインタフェースの設定)

NO	機 能	説 明
1	データ長設定	OFF : 8ビット ON : 7ビット
2	パリティビット設定	OFF-OFF : 無し ON-OFF : 奇数
3		OFF-ON : 偶数 ON-ON : 未使用
4	ストップビット設定	OFF : 1ビット ON : 2ビット
5	ボーレート設定	DIPSW2-8 OFF ON
		OFF-OFF : 9600 9600
6		OFF-ON : 19200 19200
		ON-OFF : 38400 4800
		ON-ON : 57600 2400
7	通信プロトコル設定	DIPSW2-8 OFF ON
		OFF-OFF : READY/BUSY READY/BUSY
8		OFF-ON : XON/XOFF XON/XOFF
		ON-OFF : ステータス3 ステータス3
		ON-ON : ドライバ専用プロトコル 未使用

#### DIPSW2

NO	機 能	説 明
1	印字方式設定	OFF : 熱転写方式 ON : 感熱方式
2	未使用	
3	ヘッドチェック	OFF : 無効 ON : 有効
4	HEXダンプ	OFF : 無効 ON : 有効
5	受信モード	OFF : マルチ受信 ON : 1アイテム受信
6	ダウンロードモード	OFF : 無効 ON : 有効
7	未使用	
8	通信モード切替え	OFF : 標準モード ON : 互換モード

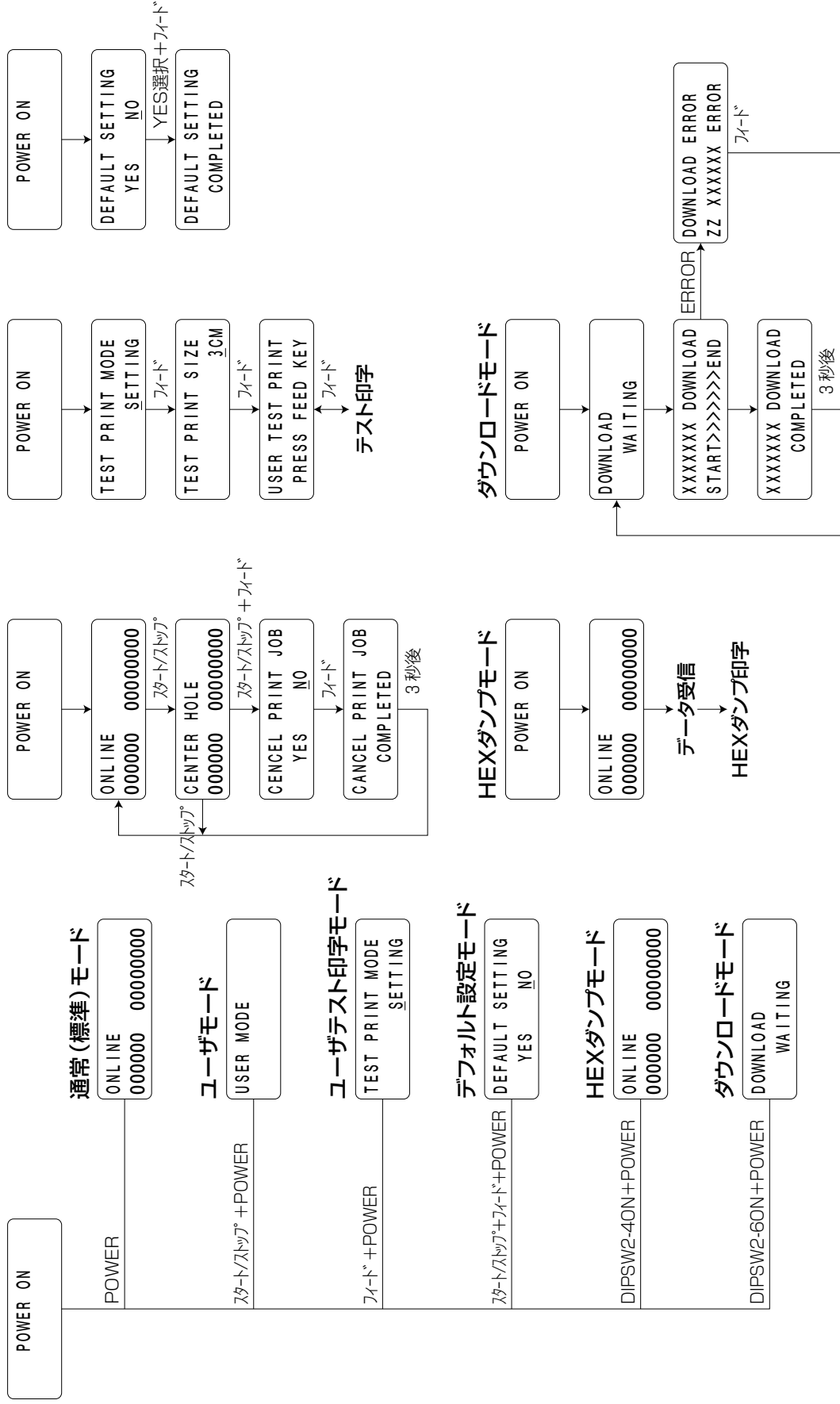
#### DIPSW3

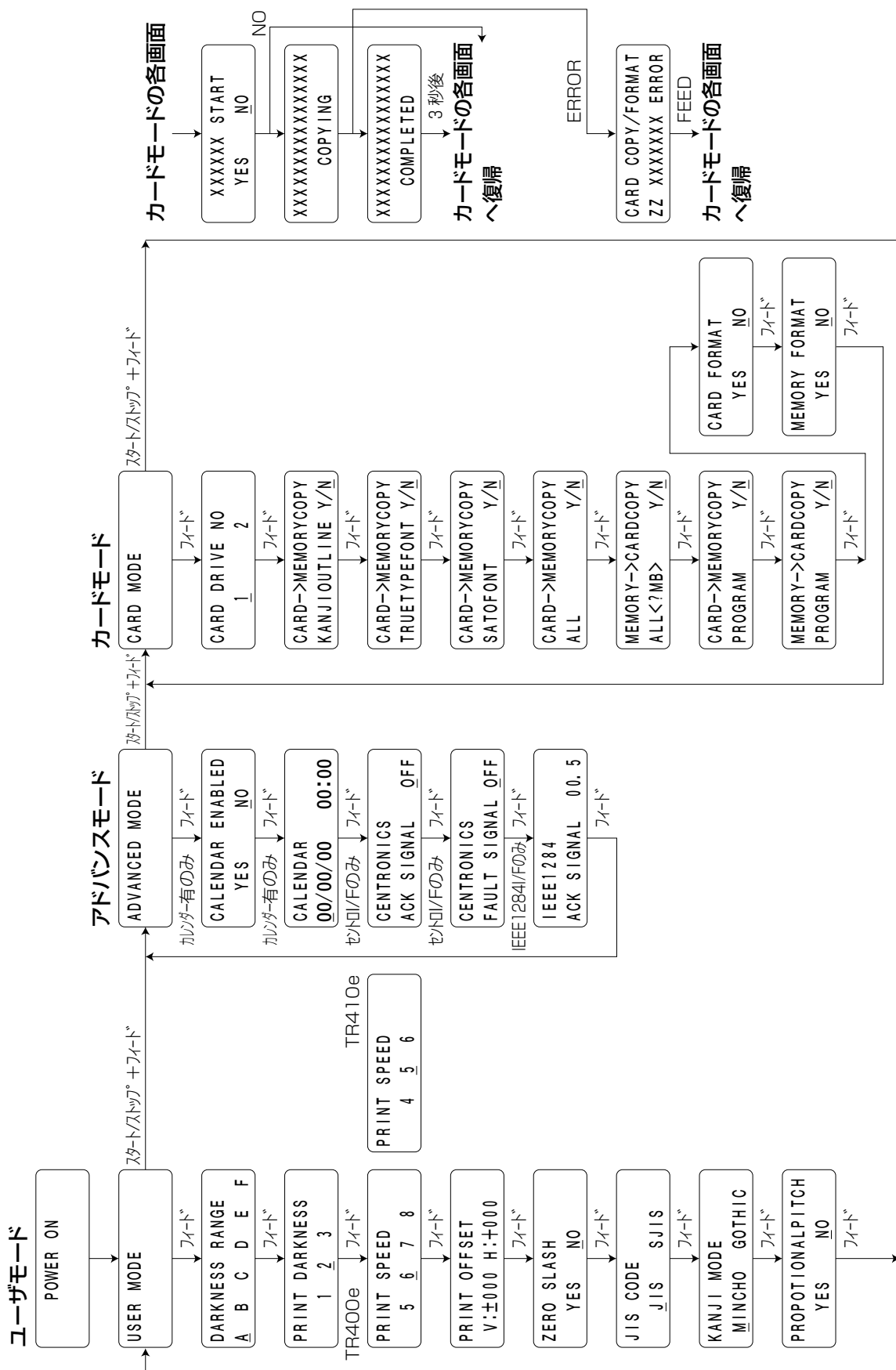
NO	機 能	説 明
1	印字フォント	OFF : 新フォント ON : 旧フォント
2	ピッチサイズチェック	OFF : 無効 ON : 有効
3	印字領域設定	OFF : 横80mm×縦120mm ON : 横100mm×縦240mm
4	未使用	
5	未使用	
6	未使用	
7	未使用	
8	未使用	

アンダーバーは工場出荷時の設定です。

# ディスプレイ画面遷移図

## LCDモード一覧





# あれ？どうしたのかな？

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をされていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

## ▲エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。

また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説明
01	MACHINE ERROR 01	マシンエラーの画面です。 原因：予想外のエラーです。 対策：販売店、ディーラー、またはサービスセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
02	EEPROM ERROR 02	EEPROMエラーの画面です。 原因：EEPROM回数オーバー。 対策：販売店、ディーラー、またはサービスセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
03	PARITY ERROR 03	パリティエラーの画面です。 原因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
04	OVERRUN ERROR 04	オーバーランエラーの画面です。 原因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
05	FRAMING ERROR 05	フレーミングエラーの画面です。 原因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
06	BUFFER OVER 06	バッファオーバーの画面です。 原因：①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ②通信プロトコルが合っていない。（制御信号やデータを無視し、ホストよりデータが送信された場合） 対策：通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
07	HEAD OPEN 07	ヘッドオープンの画面です。 原因：①ヘッドがロックされていません。 対策：①ヘッドをロックしてください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー 番号	LCD画面	説 明
08	PAPER END 08	ペーパーエンドの画面です。 原 因：①用紙がありません。 対 策：②用紙を正しくセットしてください。 警 告 音：短音3回 外部信号：ペーパーエンド
09	RIBBON END 09	リボンエンドの画面です。 原 因：①リボンがありません。 ②リボンスリットセンサーのレベルが合っていません。 対 策：①リボンを正しくセットしてください。 ②リボン搬送ルートの清掃を行ってください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
10	SENSOR ERROR 10	センサーエラーの画面です。 原 因：用紙蛇行（用紙位置のセットが正しくありません） 対 策：用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 （用紙のセット位置を確認してください。） それでもメッセージが表示された場合は、販売店、ディーラー、またはサービスセン ターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
11	HEAD ERROR 11	ヘッドエラーの画面です。 原 因：ヘッドに異常があります。 対 策：ヘッドの清掃を行い、再確認してください。 それでもメッセージが表示された場合は、販売店、ディーラー、またはサービスセン ターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
13	CARD R/W ERROR 13	カードリード/ライトエラーの画面です。 原 因：①カードが装着されていません。 ②登録されていない番号で呼び出しを行った時。 ③フォーマットされていない時。 ④カードプロテクト状態で登録を行った時。 対 策：①カードを確認してください。 ②ホストのプログラムを確認してください。 ③カードのフォーマットを行ってください。 ④カードのプロテクトを外してください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
14	CARD LOW BATTERY 14	カードローバッテリーの画面です。（起動時と使用時にチェックします。） 原 因：①カード内の電池が消耗している時。 対 策：①カード内の電池をすみやかに交換してください。 （カード内のデータが消去されるケースがあるので、カードのフォーマットと登録 を行ってください。） 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
15	CUTTER ERROR 15	カッタエラーの画面です。 原 因：①カッタ部で用紙ジャムが発生した場合。 ②カッタ部のスリットが正しく動作しない。 対 策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー



エラー 番号	LCD画面	説 明
16	DOWNLOAD ERROR 16 R/W ERROR	<p>プログラム／フォントダウンロードエラーの画面です。            [フィード] キーを押すとダウンロード待ち画面に戻ります。            ※下段表示エラー、“R/W” (16)、“NOTAREA” (17)。            原 因：①ダウンロード中にリード／ライトエラーが発生した。                      ②ダウンロード領域が無い。            対 策：①ダウンロードファイルを確認してください。                      ②ダウンロードファイルサイズを確認してください。                      ③プリンタ内部の登録エリアを確認してください。            警 告 音：短音3回</p>
17	DOWNLOAD ERROR 17 NOTAREA ERROR	
18	CARD COPY/FORMAT 18 R/W ERROR	
19	CARD COPY/FORMAT 19 NOTCARD ERROR	<p>カードコピー／フォーマットエラーの画面です。            [フィード] キーを押すと元の選択画面に戻ります。            ※下段表示エラー、“R/W” (18)、“NOTCARD” (19)、“NOTAREA” (20)。            原 因：①コピー中にリード／ライトエラーが発生した。                      ②カードが装着されていない。                      ③コピー領域が無い。            対 策：①コピーファイルを確認してください。                      ②カードを装着してください。                      ③コピー領域 (サイズ) してください。            警 告 音：短音3回</p>
20	CARD COPY/FORMAT 20 NOTAREA ERROR	
21	STACKER/REWINDER 21 FULL	<p>スタッカ／リワインダフルの画面です。            原 因：①スタッカ／リワインダが一杯になっている時。            対 策：①スタッカ／リワインダから用紙を取り除いてください。            警 告 音：短音3回            解除方法：リミットオフ</p>
22	CUT SENSOR ERROR 22	<p>カッタセンサーエラーの画面です。            原 因：①カッタセンサーの位置が合っていません。            対 策：①カッタセンサーの位置を調整してください。            警 告 音：短音3回            解除方法：ヘッド開閉</p>
23	MEDIAERROR TAG 23 L:000 W:000  MEDIAERROR LABEL 23 L:000 W:000	<p>ピッチサイズチェックエラーの画面です。(DIPSW3-20Nのみ)            原 因：①指定した用紙のサイズが合っていません。            対 策：①指定したサイズの用紙をセットしてください。            警 告 音：短音3回            解除方法：ヘッド開閉</p>

### ▲あれ？メッセージが無いのにON LINEが…

エラーメッセージが無いのにON LINEが点滅する場合があります。  
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

#### ○ON LINEが点滅



#### メッセージの意味

要因       ：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。  
対応方法：このまま使用しても構いません。  
              プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

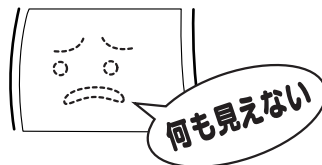
### ▲あれ？メッセージが無いのにブザー音が…

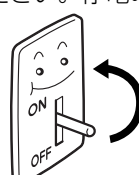
コマンド記述の誤り、又は印字領域指定が誤っています。  
対応方法：プログラムを見直してください。

## ▲こんなときは？

本機の操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。



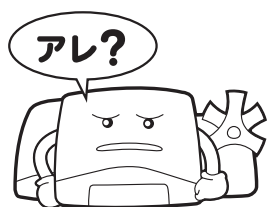
	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本体のヒューズが切れていませんか？	本体背面にあるヒューズを確認してください。 ヒューズが切れていたら、市販の同等のヒューズと交換してください。交換後、再度切れた場合は、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。
5	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。



### 注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

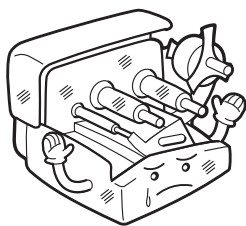
紙送りはするけど印字されない



【確認してください】

1

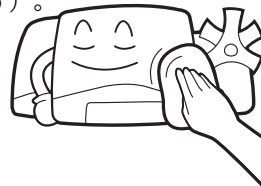
サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？



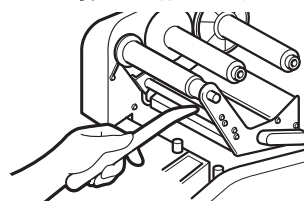
【直しかた】

サーマルヘッドが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。

\* 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。



このとき、ラベルの接着剤がサーマルヘッドに付着していたら、添付の清掃用具でふき取ってください。



2

本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？



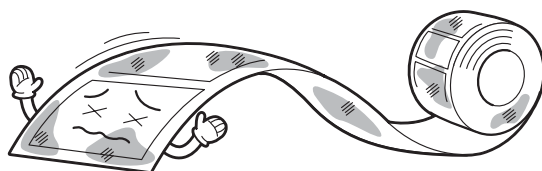
本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。



注意

- 掃除は、電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

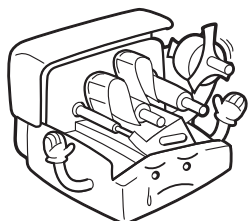
きれいに印字しない



【確認してください】

1

用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？



【直しかた】

用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、ヘッド部を持ち上げて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとどまっているか調べてください。

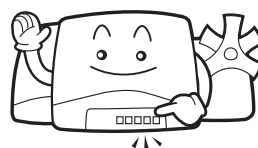


2

印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？

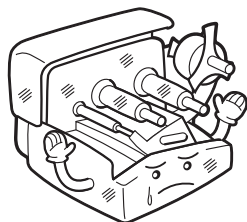


ユーザーモード設定操作で印字濃度を設定し直してください。

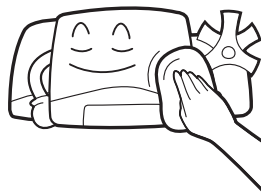


3

プラテンローラが汚れていませんか？



プラテンローラが汚れていたら、添付の掃除用具で汚れをふき取ってください。

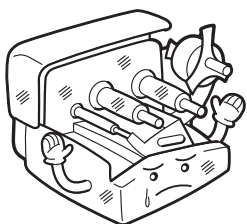


注意

- 掃除は、電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

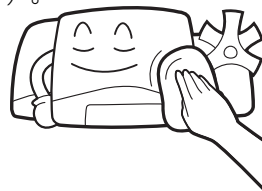
4

サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？

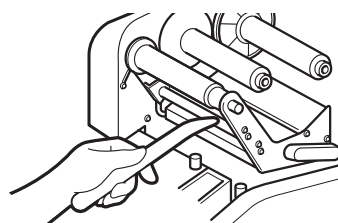


サーマルヘッドが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。

\* 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。

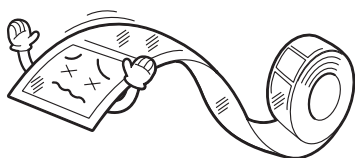


このとき、ラベルの接着剤がサーマルヘッドに付着していたら、添付の清掃用具でふき取ってください。



5

汚れた用紙を使っていませんか？



きれいな用紙を使ってください。

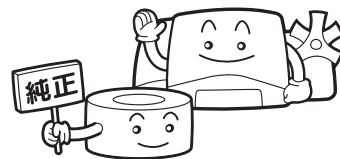


6

本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？



本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。



注意

- 掃除は、電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

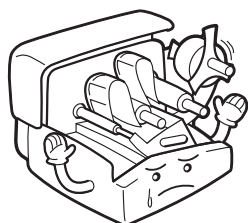
印字位置がずれる



【確認してください】

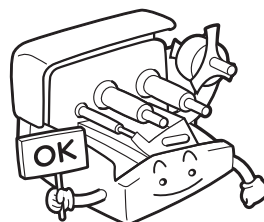
1

用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？



【直しかた】

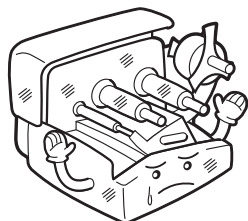
用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。



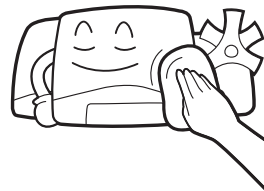
また、ヘッド部を持ち上げて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとどまるようにセットし直してください。

2

プラテンローラが汚れていませんか？

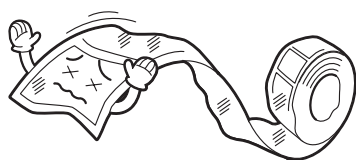


プラテンローラが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。



3

型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？



用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。



注意

- 掃除は、電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

【確認してください】

4

本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？



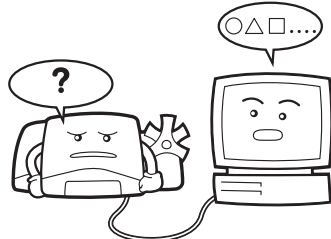
【直しかた】

本機専用の純正用紙・カーボンリボン  
を必ず使ってください。

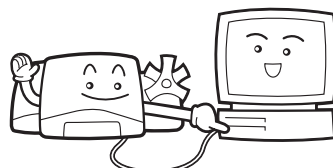


5

コンピュータから送られてくるデー  
タ・信号の内容が誤っていませんか？

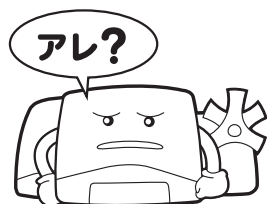


電源を入れ直してください。  
それでもメッセージが表示されたら、  
コンピュータ側のソフトウェアの内容  
や通信条件を確認してください。

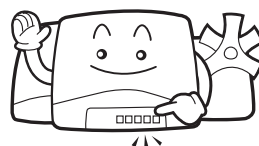


6

基点補正の設定がおかしくありませ  
んか？



ユーザーモード設定操作で、基点補正  
を設定し直してください。





# 毎日のお手入れ

本プリンタは、大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。

各部が汚れていると大切なバーコードや文字がきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃を行ってください。

また、本プリンタは、大量に用紙を使用します。そのため紙粉の発生が避けられません。

プリンタの内部にたまった紙粉を手の届く範囲で、清掃してください。

## ▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

サーマルヘッド・プラテンローラ

用紙 1 巻ごと。または、用紙 120m 印字ごと

その他

用紙 6 巻ごと。または、用紙 720m 印字ごと

## ▲お手入れの時期

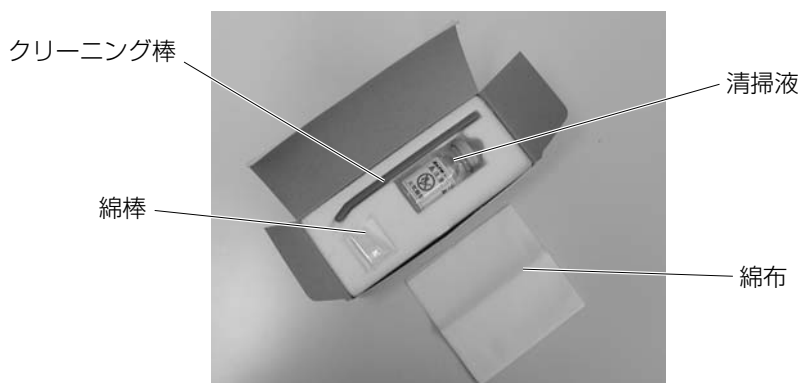
お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 上記の清掃時期は、目安です。汚れの程度に応じて清掃を行ってください。
- 各部の清掃には、綿棒や柔らかい布を使用してください。
- ドライバーなどの固い物、角のある物を使って清掃を行うと、各部を傷つける恐れがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には、絶対に使用しないでください。
- 必ず電源を切ってから行ってください。
- 添付の清掃液は、火気厳禁です。高温になる場所や火の側、幼児の手の届く場所に、置かないでください。
- 清掃時にカットユニットを取り外す場合は、ケーブルをはさんで切らない様に注意してください。

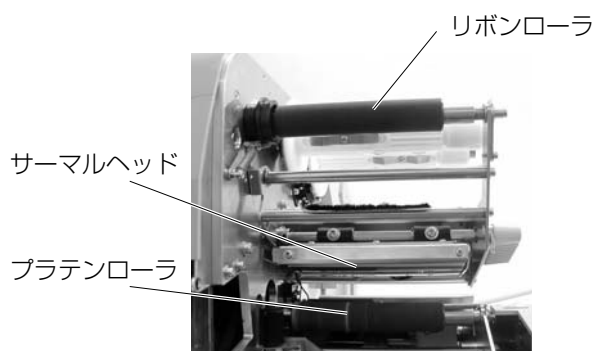
## ▲お手入れのしかた

添付の清掃用具を使って、各部の汚れ、紙粉、ラベルの糊等を拭き取ってください。

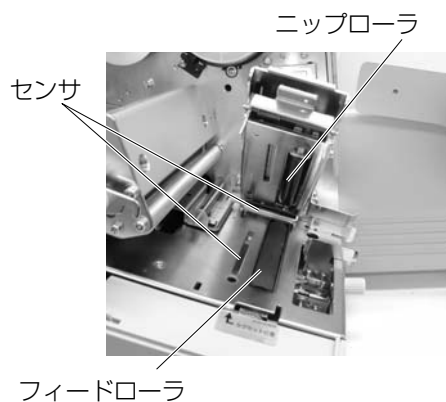
### プリンタクリーニングセット



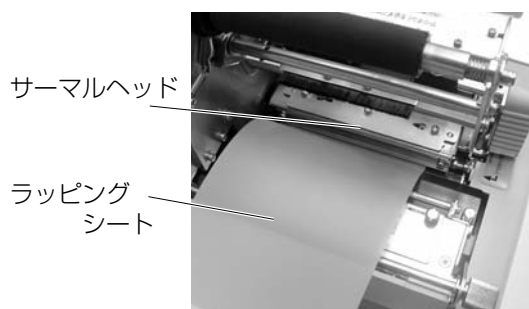
## サーマルヘッド部



## ペーパーリッド部

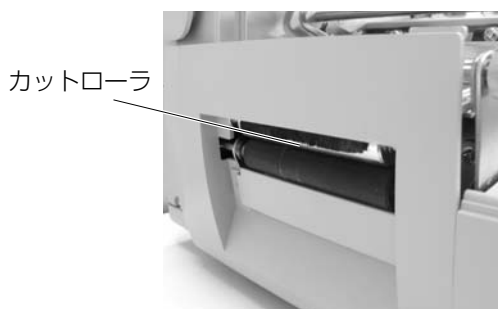


## ラッピングシート

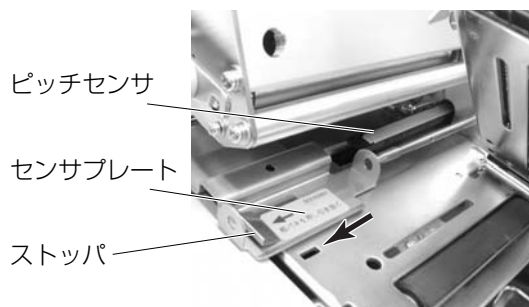


ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付しています「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

## カッタ部



## ピッチセンサ部



## アイマークセンサ



- センサプレートの取付け軸受け部の内側にあるストッパを押し下げ、センサプレートを外します。
- ピッチセンサ、アイマークセンサを清掃します。
- 清掃後は、センサプレートを取付け軸に取付けます。

# 基本仕様

モデル名	TR400e	TR410e
ヘッド密度	8ドット/mm	12ドット/mm
印字方式	熱転写方式 (DIPSW2-10FF) / 感熱方式 (DIPSW2-10N) 切替はディップスイッチで行う	
本体メモリ	標準メモリ 2MB、拡張メモリ 4MB (2MB×2) ※拡張メモリは標準装備	
通信バッファ	最大 2.95MB (ニアフル 2MB)	
印字速度	125,150,175,200mm/秒	100,125,150mm/秒
	注) 但し、使用用紙によって印字速度を落とす必要があります。	
印字有効エリア	標準：幅80mm×ピッチ120mm (DIPSW3-30FF) 拡張：幅100mm×ピッチ240mm (DIPSW3-30N) 切替はディップスイッチで行う。	
用紙種類	当社製純正用紙を必ずお使いください。	
用紙サイズ	最小：W32×P (タグ25mm、ラベル19mm (ラベルはカス取り分含み)) 最大：下記参照 標準 W80×P (タグ120mm、ラベル120mm (ラベルはカス取り分含み)) 拡張 W100×P (タグ240mm、ラベル240mm (ラベルはカス取り分含み))	
用紙形態	最大外径：φ250mm 紙管径：φ101.6mm (4インチ)	
カーボンリボン	当社製純正カーボンリボンを必ずお使いください。 注) カーボンリボン巾は、ご使用になる用紙巾より1ランク広い巾をお使いください。	
ピッチ検出	①裏アイマーク検出 ②ギャップ検出 ③ホール (センターホール及び、横ホール) ④エッジ検出 (角R) 注) 検出方法は自動検出	
インタフェース	RS-232Cインタフェース EXT オプションカードインタフェース オプションインタフェーススロット 注) インタフェーススロットはオプションの①～④に入替え可能	
カードインターフェース	1スロット (SRAMカード：2Mbyte、フラッシュカード：16Mbyte)	
コマンド	SBPL Ver2.0 (SATO Barcode Printer Language)	
バーコード	UPC-A/E, EAN, JAN, CODE39, CODE93, CODE128, UCC/EAN128, インタリブド2of5、 インダストリアル2of5、マトリックス2of5、NW-7, SATOC NW-7, 短縮NW-7, カスタマバーコード	
	2次元	QRコード (Ver8.1) PDF417 (Ver2.4) ペリコード (Ver1.0) マキシコード (Ver3.0) データマトリックス (Ver2.0) ※ECC200のみ対応

モデル名		TR400e	TR410e
フォント	内蔵 フォント	X1文字 20×50 (英数字、記号、カナ) X2文字 8×20 (英数字、記号、カナ) X3文字 13×21 (英数字、記号、カナ) WB 18×30 (英数字、記号、カナ) WL 28×52 (英数字、記号、カナ) OCR-A 15×22 (英数字、記号) OCR-B 20×24 (英数字、記号)	X1文字 30×75 (英数字、記号、カナ) X2文字 12×30 (英数字、記号、カナ) X3文字 20×32 (英数字、記号、カナ) WB 18×30 (英数字、記号、カナ) WL 28×52 (英数字、記号、カナ) OCR-A 22×33 (英数字、記号) OCR-B 30×36 (英数字、記号)
		(共通) X70文字 32×48 (数字、"\$¥ー、") 斜体 X71文字 40×60 (数字、"\$¥ー、") 斜体 X72文字 48×72 (数字、"\$¥ー、") 斜体 X73文字 64×96 (数字、"\$¥ー、") 斜体 X74文字 32×48 (数字、"\$¥ー、") X75文字 40×60 (数字、"\$¥ー、") X76文字 48×72 (数字、"\$¥ー、") X77文字 64×96 (数字、"\$¥ー、")	
	漢字ROM フォント	漢字 16×16 (JIS第一水準、第二水準) (角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字 24×24 (JIS第一水準、第二水準) (角ゴシック体/明朝体選択可)	
アウトラインフォント		英数字、記号、カタカナ	
ラスタライザフォント		CGTimes (英数字、記号) CGTriumvirate (英数字、記号)	
印字方向		文字：0°、90°、180°、270°    バーコード：シリアル1、シリアル2、パラレル1、パラレル2	
バーコード比率		1：2、1：2.5、1：3、任意指定	
文字拡大倍率 (バーコード*)		縦1倍～12倍、横1倍～12倍 バーコードの場合は、L1～L12	
各種機能		ステータス返送機能、グラフィック機能、連番機能、フォームオーバーレイ機能、外字登録機能、文字補正機能、白黒反転機能、罫線機能、フォーマット登録機能、アウトライン機能、アウトライン変形機能、ゼロスラッシュ切替え機能、JIS/シフトJIS切替え機能、カット位置補正、ジャンプセンサー、仕分けマーク、バックフィード、カレンダー機能 (オプション)	
自己診断機能		ヘッド切れチェック、ペーパーエンド検出、リボンエンド検出、リボンニアエンド検出 (残り30m～15m以下で検出)、ヘッドオープン検出、メモリーカードエラー検出、テスト印字、メディアエラー、ピッチエラー、カッターエラー、カッターセンサーエラー、スタックフル	
操 作 部		LCD    : 16×2行 英数 (バックライト付) スイッチ : スタート/ストップ、フィード、カッタON/OFF、排出カット、用紙選択 LED    : オンライン (緑)、カッタON/OFF (緑)、エラー (赤)	
調整用パネル		ディップスイッチ：3個 ボリューム        : 印字濃度、カット位置、印字位置、表示濃度	
ノイズ規格		VCCIクラスA	
寸法、重量		302W×552D×294H (mm) 14Kg (標準)	
電 源		AC100V±10%	
消費電力		ピーク時 236VA 141W (待機時 31.5VA 21.7W)    印字率 30%	
温 度/湿度環境		使用環境    5～40℃/30～80% (但し、結露無きこと) 保存環境    -5～60℃/30～90% (但し、結露無きこと) ※用紙・カーボンリボンは除く	
オプション		①セントロニクス インタフェースボード ②IEEE1284 インタフェースボード ③USB インタフェースボード ④LAN インタフェースボード (10BASE-T/100BASE-TX) ⑤スタッカ (大型/小型) ⑥巻き取り機 ⑦メモリカード基板 ⑧メモリカード ⑨漢字アウトラインカード	

# アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。  
保守サービス業務について、ご説明します。

## サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出張費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

補修用部品の保有は、ご購入後より5年間とさせていただきます。

## 保守サービスの内容一覧表

出張保守	出向保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
預かり保守	持込み保守	故障が発生した場合は用紙をセットした状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサービスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

## 保守サービスの説明

### 保証期間中の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6ヵ月間の保証期間として無償修理を行っております。  
機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

## 保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

### フルメンテナンスサービス

#### 1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約料により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

#### 2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

### 保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

### 保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サービスセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

## スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださるよう、お願いいたします。

### 銀行預金口座振込

お支払いには、振込手續が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

### 登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）が、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機器の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

機械修復作業時にデータ・ソフト等の復旧ができない場合がありますので、予めご了承ください。





\*Q00077000\*